2000 年秋季年会

講演予稿集

於 群馬県総合教育センター

2000年10月5日(木)~10月7日(土)

日本天文学会

A 突発天体

B銀河形成

J 位 置

K天力

L 太陽系

M 太 陽

N恒星

P星形成

Q星 間

R銀河

S銀河核

T銀河団

U宇宙論

V地上観

W飛翔観

X 情 報

Y教育他

ZPDL

索 引

日本天文学会 2000 年秋季年会プログラム

場 所 群馬県総合教育センター (案内図参照)

〒 372-0031 群馬県伊勢崎市今泉町 1-233-2

電 話·FAX 090-4387-6893 <使用期間 2000年10月4日(水)~10月8日(日)>

日	程 時 3	剣	9	10	11	12 1	3	14	1	5	1	6 17		18	3	19
٠	月日	会場						分	野							
	10月4日 (水)	В						記者会	見							
ſ		Α		R. 銀	河		ポー									
		В		X. 情報/	Y. 教育		ス・タ・			天 文				\		
		С		L. 太	陽系			ポ		天文教育フ						\
	10月5日 (木)	D		Q. 星	間	量休み		ス タ				LMSA 特別セッショ		ン		
		Е		V. 地	上観] <i>み</i>		1		オーラム						
l		F		B. 銀剂	可形成		ア・ワ									
		G		A. 突引	老天体		Í í :									
ſ		Α		R. 銀 河			ポース		R. 銀	退 河		研				
		В	J. 位置/K. 天力				9		U. 宇宙論			獎		究獎		
١		С		N. 恒 星	ポ	昼評	昼休み (評議員会)		N. 恒 星 P. 星形成 V. 地上観 M. 太陽			総	励賞		懇	
	10月6日 (金)	D		Q. 星 間	ファタ	休譲み員会)							受賞		親	
		Е		V. 地上観	7 1							숲		記		会
ł		F		M. 太陽										念講		
L		G	4	A. 突発天体					S. 銀	根河核				演		
ı		Α		T. 銀河団			Т	. 銀河団								
ı		В		W. 飛翔観			W	7. 飛翔観								
ı		С		N. 恒 星	ヸ	 昼理	N	. 恒 星		特						
ı	10月7日 (土)	D		P. 星形成	ポスタ	休事	P.	. 星形成		別講		3	Lクン	スカー	-ショ	ン
ı		Е		V. 地上観	١	み会)				演						
ı		F		M. 太陽			l	M. 太陽								
L		G		S. 銀河核			s	. 銀河核	銀河核							
	10月8日 (日)	A							,	公開講》 (一般対	寅会 (象)		_	\	\	

A 会場: 講堂(本館2階)

B 会場: 本館 401 号室 (4 階)

C 会場: 本館 402 号室 (4 階)

D 会場: 本館 404 号室 (4 階)

B 会場: 本館 406 号室 (4 階)

F 会場: 本館 702 号室 (7 階)

G 会場: 本館 704 号室 (7 階)

受 付 :本館ロビー (8:30から)

ポスター会場 :体育館

懇親会場 ニニューいずみ

(会場より徒歩5分)

ビジネスアワー:

ビジネスアワーには、集会や会合を

開くことができます。

◎講演数・参加費用

講演数 合計 431 うち、

口頭講演 (a): 237、ポスター講演 (b): 160、ポスター講演 (c): 34

基本登録料:会員3,000円、非会員5,000円(1講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料:3,000円(追加1講演につき)

年会予稿集:2.000円(購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

◎講演に関する注意

1. 口頭発表は7会場で併行して行います。口頭講演(添字a)は、口頭発表10分、質疑応答5分です。ポスター講演(添字b)は、口頭発表3分、4講演で15分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守:講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

- 2. ポスター発表 (添字b)、(添字c) は、3日間掲示できます。ポスターは縦180×横120 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、10月5日の8:30から10月7日の15:00まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
- 3. 講演にはOHPをご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

◎会期中の行事

1. 記 者 会 見 : 4日(水) 13:30~ B会場

学会講演の中から、3~4のトピックスを選び、記者会見を行います。

2. 天文教育フォーラム : 5日(木) 14:30~16:00 A会場

3. LMSA 特別セッション : 5日(木) 16:10~18:00 A 会場

4. 評 議 員 会: 6日(金) 12:00~13:00 会議室

5. 総 会 : 6日(金) 16:00~17:30 A 会場

主な議題 = ○新役員(理事、監事)の承認

○選挙管理委員の承認

○2001 年度事業計画 (案)

○2001年度収支予算(案)

6. 研究奨励賞受賞記念講演 : 6日(金) 17:30~18:00 A 会場

7. 懇 親 会: 6日(金) 18:30~ ニューいずみ

8. 理 事 会: 7日(土) 12:00~13:00 会議室

9. 特 別 講 演: 7日(土) 15:00~15:40 A会場

10. エクスカーション : 7日(土) 16:00~ ぐんま天文台

11. 公 開 講 演 会 : 8日(日) 14:00~17:00 A会場

◎天文教育フォーラム(天文教育普及研究会と共催)

日時・場所 : 2000年10月5日(木)14:30~16:00 A 会場(講堂)

テーマ: 『新世紀のプラネタリウム利用を提案しよう』

概 要: いま、科学館や博物館などへの入場者数が減少しています。もっとも顕著な例が、プラネタリウム館。例えば、老舗の五島プラネタリウム(東京・渋谷)が来年3月で閉館します。天文教育・普及に大いに貢献してきたプラネタリウムは、もはや、その役割を終えたのでしょうか?いいえ、決してそんなことはありません。例えば、2002年から実施される新学習指導要領の下では、学校5日制の導入などによって、社会教育施設のさらなる活用が求められています。また、大学の授業でプラネタリウムを利用

するなどの事例も始まっています。

そこで今回のフォーラムでは、日本のプラネタリウム界の現状を紹介するとともに、 全国に300館も存在するプラネタリウム館が、天文教育・普及において今後どのよ うな役割を果たし得るのかを、多角的に議論したいと思います。

参 加 費 : 天文教育フォーラムのみの参加者は、参加費(基本登録料)は不要です。

年会受付で、その旨お伝え下さい。

実 行 委 員: 縣 秀彦(国立天文台)、山縣朋彦(文部省)

浜根寿彦(ぐんま天文台)、鈴木文二(埼玉県立三郷工業技術高校)

問い合わせ先:縣 秀彦 (h.agata@nao.ac.jp)

◎ LMSA 特別セッション

(日本学術会議 天文学研究連絡委員会、同 天文学国際共同観測専門委員会と共催)

日時・場所 : 2000年10月5日(木)16:10~18:00 A会場(講堂)

概 要: 『すばる』に続く地上大型観測装置として構想されてきたLMSA(大型ミリ波サブミリ波干渉計)は、日米欧による「国際大型干渉計」として建設を進める方向で現在世界各国で仕様の詰めと予算要求が行われています。このセッションでは、国際的な視野から、その科学的ポテンシャルを他波長の装置とも関連づけながら紹介するとともに、計画の進捗状況をお知らせし、計画推進をより確かのものにするために広く討

論する機会を持ちたいと思います。ふるってご参加ください。

世 話 人 : 長谷川哲夫 (東京大学天文学教育研究センター)

◎特別講演

日時·場所 : 2000年10月7日(土) 15:00~15:40 A 会場(講堂)

講 演 者 : 高部英明 (大阪大学レーザー核融合研究センター・教授)

題 目:「高強度レーザーを用いた実験室天体物理」

概 要: ハッブル宇宙望遠鏡に代表される観測技術の急速な向上により、高度な宇宙・天体物理の理論・シミュレーション研究が要求されて来ている。それは、ミクロな物理とマクロな物理が密に絡んだ複合現象を対象としており、要素物理モデルが妥当かどうか実験による検証を必要としている。星の進化を中心とする天体物理の解明に必要となるミクロ、マクロの物理のかなりの部分が、高強度レーザーを用いた実験室での模擬実験で検証し得ると考えている。主に、超新星爆発の多次元流体の物理機構や超新星残骸の爆風波に伴う流体・原子過程。AGNやブラックホール周りや、ガンマ線バーストで重要となる電子・陽電子プラズマ。光電離非平衡プラズマによるX線レーザー天体の可能性などを現在研究している。研究の現状を紹介すると共に、当センターの高出力大型レーザー「激光XII号」を用いた宇宙ジェットの実験結果や、今後の実験計画について述べる。このように、レーザーによる天体模擬実験を物理統合型のシミュレーションコードを介して、天体物理解明とリンクさせていく新たな天体物理の研究分野について、米国の動きなども含め紹介したい。

【参考文献】

[1] 小特集:高強度レーザーを用いた実験室宇宙物理 高部英明編、プラズマ・核融合学会誌 74, 1254-1309(1998).

[2] Modeling Astrophysical Phenomena in the Laboratory with Intense Lasers

B. A. Remington, D. Arnett, R. P. Drake, and H. Takabe Science, 284, 1488-1493 (1999).

[3] A Review of Astrophysics Experiments on Intense Lasers
 B. A. Remington, P. Drake, H. Takabe, and D. Arnett Physics of Plasmas 7, 1641-1652 (2000)

◎日本天文学会公開講演会(群馬県、群馬県教育委員会後援)

テーマ:「現代天文学・宇宙への挑戦!」

日 時: 2000年10月8日(日) 14:00~17:00(13:30 開場)

場 所: 群馬県総合教育センター 講堂 (A 会場)

対 象: 中学生以上・一般

講 演 I:「宇宙を考える」

「宇宙を見ない」で「宇宙を考える」とどうなるでしょう?

「星の宇宙」「火の玉宇宙」「量子宇宙」は何に答えようとしているのか?

講 演 者 : 京都大学・教授 佐藤 文隆

講 演 II:「宇宙を観る」

ガリレオが口径4センチの望遠鏡で宇宙を見てから、400年。

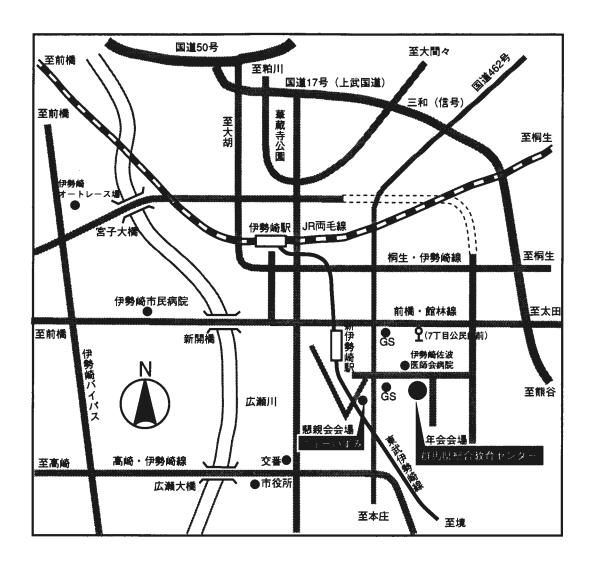
口径8メートルの[すばる]は、宇宙に何を見るだろう。

宇宙に「果て」は、あるのだろうか?

講演者: 国立天文台・台長 海部 宣男

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。 ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

秋季年会会場(群馬県総合教育センター)のご案内



交通案内

・鉄道

JR 両毛線/伊勢崎駅下車 2.5km (タクシー約 5 分) 東武伊勢崎線/新伊勢崎駅下車 (徒歩約 10 分) 伊勢崎駅発群馬中央バス/太田伊勢崎線7丁目公民館前下車(徒歩約 3 分)

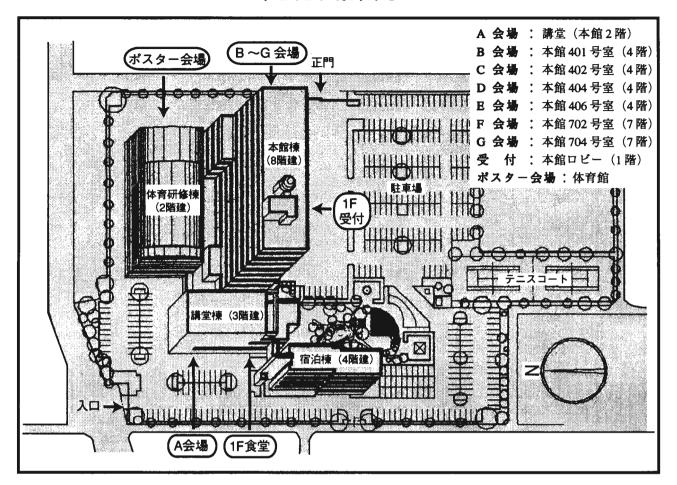
東京から

JR 両毛線は高崎線高崎駅、または宇都宮線小山駅で乗換 東武伊勢崎線は浅草始発、北千住経由(浅草駅より約2時間) 伊勢崎には JR 高崎線本庄駅から1時間に1本程度のバスの便もある

・自動車

関越自動車道/本庄児玉 I.C. から 国道 462 号線を利用 会場の駐車場は無料で利用できます

年会会場案内図



エクスカーション

昨年7月に開設された県立ぐんま天文台へのエクスカーションを計画しています。県立ぐんま天文台は 口径1.5mの反射望遠鏡を中心とした国内有数の規模の天文台で、学術研究とともに広い教育・普及活動 も目指しています。

この機会に是非皆さんでお越しください。施設見学の他、晴天の場合は1.5m望遠鏡を用いた観望会を 予定しています。参加ご希望の方は下記の連絡先までお知らせください。

なお、自家用車での参加も可能です。この場合は、バスの申込は不要です。ご希望の方はお問い合わせください。また、バス、自家用車にかかわらず、駐車場から天文台までは約 600m の遊歩道(徒歩 10分)を歩いていただきます。

日 程:2000年10月7日(土)

16時00分 総合教育センター (伊勢崎市) 発

17時30分 県立ぐんま天文台着 一 施設見学、1.5m望遠鏡による天体観望、他 -

21 時 30 分 高崎駅着 解散

交通手段 : バス または 自家用車

連 絡 先 : 県立ぐんま天文台(担当:橋本修)

電話:0279-70-5300, 電子メール:nenkai@astron.pref.gunma.jp

申込締切 : バス定員が満員になるまで。詳しくはお問い合わせください。

自家用車利用の場合もお問い合わせください。

口頭セッション 10月5日(木)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀河】	【情報】	【太陽系】	【星間】	【地上観】	【銀河形成】	【突発天体】
09:30	R01a X01a L01a		Q01a	V01a	B01a	A01a	
09 : 45	R02a	X02a	L02a	Q02a V02a		B02a	A02a
10:00	R03a	X03a	L03a	Q03a	V03a	B03a	A03a
10:15	R04a	X04b, X05b X06b, X07b	L04a	Q04a	V04a	B04a	A04b, A05b
		【教育】			i		
10:30	R05a	Y01a	L05a	Q05a	V05a	B05a	A06a
10:45	R06a Y02a		L06a	Q06b, Q07b Q08b, Q09b	V06a	B06a	A07a
11:00	R07a Y03b, Y04b Y05b, Y06b		L07a	Q10a V07a		B07a	A08a
11:15	R08a Y07b L08a		L08a	Q11a	V08a	B08a	A09a
11:30	R09b, R10b R11b, R12b		L09b, L10b L11b, L12b	Q12a	V09a	B09a	A10a
11:45	R13b, R14b R15b, R16b		L13b, L14b L15b, L16b	Q13a	V10b, V11b V12b, V13b	B10a	A11b, A12b A13b, A14b
12:00			L17b	Q14b, Q15b Q16b		B11b, B12b B13b	
		'		昼休み			•
13:00				上 小グ			
				ポスター			
14:30							
16:00			天文	教育フォー	-ラム		
10.00							
18:00			LMSA	特別セッ	ション		

口頭セッション 10月6日(金)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場 F会場 G会		G会場			
	【銀河】	【位置厌力】	【恒星】	【星間】	【地上観】	【太陽】	【突発天体】			
09:00	R17a	J01a	N01a	Q17a	V14a	M01a	A15a			
09:15	R18a	J02a	N02a	Q18a	V15a	M02a	A16a			
09:30	R19a	J03a	N03a	Q19a	V16a	M03a	A17a			
09:45	R20a	J04b, K01b K02b, K03b	N04a	Q20a	V17a	M04a	A18a			
10:00	R21a	K04a	N05a	Q21a	V18a	M05a	A19a			
10:15	R22a	K05a	N06a	Q22a	V19a	M06a	A20a			
10:30	R23a	K06a	N07a	Q23a	V20b, V21b V22b, V23b	M07b,M08b M09b,M10b	A21a			
10:45	R24b, R25b R26b, R27b	K07a	N08b, N09b N10b, N11b	Q24a	V24b, V25b V26b	M11b,M12b M13b,M14b	A22b			
11:00	R28b			Q25a						
11:15		ポス	ター	Q26b, Q27b Q28b, Q29b	ポスター					
12:00										
				昼休み						
13:00				ポスター						
:	【銀河】	【宇宙論】	【恒星】	【星形成】	【地上観】	【太陽】	【銀河核】			
14:00	R29a	U01a	N12a	P01a	V27a	M15a	S01a			
14:15	R30a	U02a	N13a	P02a	V28a	M16a	S02a			
14:30	R31a	U03a	N14a	P03a	V29a	M17a	S03a			
14:45	R32a	U04a	N15a	P04b, P05b P06b, P07b	V30a	M18a	S04a			
15:00	R33a	U05a	N16a	P08a	V31a	M19a	S05a			
15:15	R34a	U06a	N17a	P09a	V32a	M20a	S06a			
15:30	R35a	U07a	N18a	P10a	V33a	M21a	S07b, S08b S09b, S10b			
15:45	R36a		N19b, N20b N21b	P11b, P12b P13b, P14b	V34b, V35b V36b, V37b	M22a	S11b, S12b			
16:00		· · · · · · · · · · · · · · · ·		総会	•		<u> </u>			
17:30			المراجعة المساور المسا		·····································					
18:00			研究奨励	动賞受賞記	L念講演 ————					

口頭セッション 10月7日(土)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場		
	【銀河団】	【飛翔観】	【恒星】	【星形成】	【地上観】	【太陽】	【銀河核】		
09:00	T01a	W01a	N22a	P15a	V38a	M23a	S13a		
09:15	T02a	W02a	N23a	P16a V39a		M24a	S14a		
09:30	T03a W03b,W04b W05b,W06b		N24a	P17a	V40a	M25a	S15a		
09:45	T04a W07b,W08b N W09b,W10b		N25a	P18b, P19b P20b, P21b			S16a		
10:00	T05a W11b,W12b N26a P22a W13b,W14b		P22a	V42a	M27a	S17a			
10:15	T06a	W15b,W16b W17b,W18b	N27b, N28b N29b, N30b	P23a	V43a	M28b,M29b M30b,M31b	S18a		
10:30	T07b, T08b T09b, T10b	W19b,W20b W21b,W22b	N31b, N32b N33b, N34b	P24a	V44a		S19a		
10:45	T11b, T12b T13b, T14b	W23b	N35b, N36b N37b	P25a	V45a		S20b, S21b S22b, S23b		
11:00				P26b, P27b P28b	V46a		S24b		
	ポスター			-	V47b, V48b V49b, V50b	'			
12:00									
				昼休み					
	【銀河団】	【飛翔観】	【恒星】	【星形成】		【太陽】	【銀河核】		
13:00	T15a	W24a	N38a	P29a	•	M32a	S25a		
13:15	T16a	W25a	N39a	P30a		M33a	S26a		
13:30	T17a	W26a	N40a	P31a		M34a	S27a		
13:45	T18a	W27a	N41a	P32a		M35a	S28a		
14:00	T19a	W28a	N42a	P33a		M36a	S29a		
14:15	T20a	W29a	N43a	P34a		M37a			
14:30		W30a	N44a	P35a		M38a			
14:45		W31a		P36a					
15:00				 特別講演		<u></u>			
15:40 16:00									
			エク	スカーシ	ョン				
	-								

【突発天体・突発現象】

A04b, A05b, A11b, A12b, A13b, A14b A22b

【銀河形成】

B11b, B12b, B13b, B14c, B15c

【位置天文学】

J04b

【天体力学】

K01b, K02b, K03b

【太陽系】

L09b, L10b, L11b, L12b, L13b, L14b, L15b, L16b, L17b, L18c, L19c, L20c, L21c

【太陽】

M07b, M08b, M09b, M10b, M11b, M12b, M13b, M14b, M28b, M29b, M30b, M31b, M39c

【恒星】

N08b, N09b, N10b, N11b, N19b, N20b, N21b, N27b, N28b, N29b, N30b, N31b, N32b, N33b, N34b, N35b, N36b, N37b, N45c, N46c, N47c, N48c

【星形成】

P04b, P05b, P06b, P07b, P11b, P12b, P13b, P14b, P18b, P19b, P20b, P21b, P26b, P27b, P28b, P37c

【星間現象】

Q06b, Q07b, Q08b, Q09b, Q14b, Q15b, Q16b, Q26b, Q27b, Q28b, Q29b, Q30c

【銀河】

R09b, R10b, R11b, R12b, R13b, R14b, R15b, R16b, R24b, R25b, R26b, R27b, R28b, R37c, R38c, R39c, R40c, R41c, R42c

【活動銀河核】

S07b, S08b, S09b, S10b, S11b, S12b, S20b, S21b, S22b, S23b, S24b, S30c, S31c, S32c

【銀河団】

T07b, T08b, T09b T10b, T11b, T12b, T13b, T14b, T21c, T22c

【宇宙論】

U08c, U09c, U10c

【地上観測機器】

V10b, V11b, V12b, V13b, V20b, V21b, V22b, V23b, V24b, V25b, V26b, V34b, V35b, V36b, V37b, V47b, V48b, V49b, V50b, V51c, V52c, V53c, V54c, V55c

【飛翔体観測機器】

W03b, W04b, W05b, W06b, W07b, W08b, W09b, W10b, W11b, W12b, W13b, W14b, W15b, W16b, W17b, W18b, W19b, W20b, W21b, W22b, W23b

【情報処理】

X04b, X05b, X06b, X07b

【天文教育・その他】

Y03b, Y04b, Y05b, Y06b, Y07b, Y08c, Y09c

A. 突発天体・突発現象 (G 会場)

				_	
1 0/5(木) 09:30		獅子座流星体の月面衝突による発光 柳澤正久、私市成実、農澤健太郎(電通大)	1 0/6(金 09:00		世界の突発現象センター VSNET の 10 年 加藤太一、野上大作、馬場 肇、増田盛 治、植村 誠(京大理)、Chatief Kunjaya
09:45	A02a	Constraining the Location of Microlensing Objects by using Parallax measurment in EAGLE events 住 貴宏(名大 STE研)、官谷幸利(東大理)	09:15	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(ITB)、山岡 均 (九大理) 高銀緯の X 線新星 XTE J1118+480 の可 視光観測
10:00	A03a	マイクロレンズ効果による偏光面の回転 吉田 宏(福島医大物理)		 	植村 誠、加藤太一、松本 桂、本川正美、山岡 均、野上大作、高見澤今朝男、長谷田勝美、佐野康夫、L. M. Cook, R.
10:15	A04b	Source Size Measurement by Quasar Microlensing 米原厚憲(京大理)		 	Novak, D. Buczynski, G. Masi, B. Martin, A. Oksanen, M. Moilanen, V. Simon, E. Leibowitz, Y. Lipkin (VSNET collabora tion team)
	A05b	白鳥座 X - 3 の巨大電波バースト直後の X線観測 北本俊二(阪大理)、堂谷忠靖、上田佳宏 (宇宙研)、河合誠之(理研)、「あすか」チーム	09:30	 A17a 	CI Aql の 2000 年新星爆発: 史上 8 例目の 反復新星 松本 桂、植村 誠、加藤太一(京大理)、
	 	Magnetar は本当にマグネターか? 村上敏夫(宇宙研)、柴崎徳明(立教大)		1 1 1	清田誠一郎(VSOLJ)、川端哲也、綾仁一哉(美星天文台)、Lukas Kral (Czech Technical University)、Rudolf
10:45	A07a	カーブラックホール回転軸上でのニュートリノ対消滅 浅野勝晃(阪大理)		 	Novák (Nicholas Copernicus Observatory), Gianluca Masi (CBA Italy)
11:00	A08a	高エネルギー粒子の放射源としての時空 特異点 原田知広(早大理工)、井口英雄(阪大理)、中尾憲一(大阪市大理)	09:45	A18a	SU UMa 型矮新星 HS 1449+6415 の発見 野上大作、B.T. Gänsicke、K. Reinsch (ゲッティンゲン大学附属観測所)、 D. Engels (ハンブルグ大学附属観測所)、 R. Novák (ニコラスコペルニクス観測所)、
11:15	A09 a	ASCA 衛星による X-ray afterglow の観測 米徳大輔、村上敏夫(宇宙研)、吉田篤 正、白崎裕治、河合誠之(理化学研)、 宇野伸一郎(日本福祉大)、前田啓一(東大)	10:00	1 1 1 1 1 1 1	E.P. Pavlenko(クリミア天体物理観測所) 暗い IIn 型超新星 2000ch の増光前の姿 山岡 均(九大理)
11:30	A10a	ガンマ線バースト即時観測システム RIBOTS 浦田裕次、河合誠之、吉田篤正、根来 均(理研)、綾仁一哉、川端哲也(美星 天文台)、小坂浩三(玉島高校)	10:15	A20a	超新星爆発におけるr過程元素合成: 「コンパクト」な原始中性子星からのニュートリノ風 和南城伸也(上智大理工)、梶野敏貴、 大槻かおり(国立天文台)、石丸友里
11:45	A11b	HETE2 計画の進行状況 III 河合誠之、吉田篤正(理研)、松岡 勝、 白崎裕治(宇宙開発事業団)、山内 誠、		, 	(東大天文)、Grant J. Mathews(Univ. of Notre Dame)
	 	高岸邦夫、廿日出勇(宮崎大工)、 George R. Ricker(MIT)他、HETE2 チーム	10:30	A21a	超新星 1987A と星周リングの衝突による X線放射のシミュレーション 前田啓一、中里直人、鈴木知治、野本
	A12b	ぐんま天文台における y 線バースト可視 光対応天体捕捉システム 衣笠健三、河北秀世、大林均(ぐんま天文	10:45	1 1 1 A22b	憲一(東大理) 新しい深い食のある SU UMa 型矮新星
	1 1 1 A 13b	台)、鳥居研一(NASDA)、河合誠之(理研) すばる Suprime-Cam によるガンマ線バー		 	IY UMa の発見 植村 誠、加藤太一、松本 桂、山岡 均、 高見澤今朝雄、P. Schmeer, L. T. Jensen,
	! ! ! !	スト光学残光の単独探索 戸谷友則、小杉城治、小林尚人、高田唯 史、水本好彦(国立天文台)、浦田祐司、 河合誠之、三原館人、吉田篤正(理研)		 	T. Vanmunster, J. Pietz, T. Kinnunen, L. M. Cook, R. Novak, D. Buczynski, B. Martin, A. Oksanen, M. Moilanen, 渡辺 努、前原裕之、伊藤 博(VSNET
	A14b	ガンマ線バースト発生前後の光学対応天 体の探索 山岡 均(九大理)、高見澤今朝雄 (VSOLJ)、大西浩次(長野高専)		 	collaboration team)

B. 銀河形成(F会場)

1 0/5(木 09:30		銀河系の化学力学進化 小林千晶、中里直人、野本憲一(東大 理)	10/5(木) 12:00 B11b	Superwind model of extended Ly α emitters at high-z 塩谷泰広、谷口義明(東北大理)
09:45	B02a	銀河系誕生期の星形成史と重金属の起源 一 「弱 r 過程」は存在するか 石丸友里(東大理)、和南城伸也(上 智大理工)	B12b	Earyly Type Galaxies in High Redshift Clusters under the Hierarchical Cluster- ing Scenario 岡本 崇(北大理)、長島雅裕(国立天 文台)
10:00	B03a	UV 背景放射下での水素分子冷却と星形成の可能性 北山 哲(都立大理)、須佐 元、梅村 雅之(筑波大計算物理)、池内 了(名 大理)	B13b	z=4.0 銀河における星形成活動の非一様 性 大内正己、嶋作一大(東大理)
10:15	B04a	種族 III 星の初期質量関数について 中村文隆(新潟大教育人間科学)、 梅村雅之(筑波大計算物理)	ポスターの <i>&</i> B14c	Metal Enrichment of Intergalactic Medium 村上 泉(核融合研)、山下和之(千葉 大)
10:30	B05a	SuperNova Triggered Star-Formation in Early Universe 町田正博(北大理)	B15c	遠紫外線背景輻射のもとでの始原星形成 大向一行(国立天文台)
10:45	B06a	衝撃波圧縮層の不安定性と分裂条件 西 亮一、釜谷秀幸(京大理)		
11:00	1 B07a	適合格子分割を用いたN体計算による ダークハローの性質及び分布 矢作日出樹、吉井 譲(東大理)		
11:15	B08a	階層的銀河形成モデルを用いた銀河計数 の解析 長島雅裕、戸谷友則、郷田直輝(国立 天文台)、吉井 譲(東大理)		
11:30	B09a	SUBARU IRCS Near-infrared Imagery of A Blue Compact Dwarf Galaxy with Extremely Low-metallicity: SBS0335-052 小林尚人、後藤美和、寺田 宏(国立 天文台ハワイ)、Alan T. Tokunaga (Institute for Astronomy, Univ. of Hawaii)、 すばるチーム		
11:45	B10a	すばる望遠鏡による z=2.39 クラスター 天体の近赤外分光観測 本原顕太郎(国立天文台ハワイ)、山田 亨(国立天文台)、岩室史英、田口智之、秦隆志、原島隆、舞原俊憲(京大理)、すばる望遠鏡チーム		

J. 位置天文学、K. 天体力学

J. 位置天文学(B会場)

1 0/6(金) 09:00 J01a	経度原点の定義 福島登志夫(国立天文台)	10/6(金) 09:45 ¦ J04b	晩期型星の水酸基メーザとその近傍の連 続波源との結合素子型干渉計による同時 観測
09:15 J02a	星食解析から求めたヒッパルコス星表の 固有運動システムの誤差 相馬 充(国立天文台)		朝木義晴(宇宙研)、出口修至、今井裕、三好真(国立天文台)
09:30 J03a	年周視差による Cepheid の P-L 関係の ゼロ点決定とバイアス 山田良透(京大理)、郷田直輝、辻本 拓司(国立天文台)		

K. 天体力学(B 会場)

10/6(金)		10/6(金)			
09:45 K0 1	b 非剛体地球の数値的章動理論 白井俊道(東大理)、福島登志夫 (国立天文台)	10:15	K05a	An Analytical Theory of Motion of Nereid Abdel-Naby S. Saad(総研大)and ○ Hiroshi Kinoshita(国立天文台)	
KO	b Long term integration error of KS regularized orbital motion II: Method of variation of parameter	10:30	K06a	粒子サイズ分布を考慮した土星リングの N体計算 台坂 博(東工大地窓)	
	(国立天文台)	10:45	K07a	火星探査機「のぞみ」の軌道決定 吉川 真、加藤隆二、市川 勉、山川	
K0 :	b 記号力学でみた対称型1次元四体問題 関口昌由(木更津高専)、谷川清隆 (国立天文台)		; 	宏、川口淳一郎(宇宙研)、石橋史朗、 大西隆史(富士通)	
10:00 K0 4	a 直線自由落下四体問題における多重衝突 軌道 谷川清隆、セッポミッコラ(国立天文 台)		 		

L. 太陽系(C会場)

	L01a	ダスト層の重力分裂による微惑星形成 古屋 泉、中川 義次(神戸大) 原始惑星の寡占的成長と原始惑星系の多 様性 小久保英一郎(国立天文台)、井田 茂 (東工大理)	10/5(木	L11b	小惑星(201) Penelope の形状 林 悟、柳澤正久(電通大)、長谷川 均(アステック)、佐藤 勲(渡辺技研)、 中島 崇、福島英雄(国立天文台) 太陽系天体サーベイ ~データベース時 代を向かえて~ 山本直孝、川端 潔(東理大理)、木下
10:00	L03a	木星雲粒子の汎用散乱位相関数:2. 編領域と吸収物質 佐藤毅彦(東理大 FRCCS)、川端 潔 (東理大理)、天間崇文(NMSU)、赤 羽徳英(京大飛騨天文台)	11:45	L13b	世界 大輔 (総研大)、渡部潤一 (国立天文台) すばる望遠鏡による小惑星の衛星捜し 柳澤正久、林 悟 (電通大)、佐藤 勲 (渡辺技研)、長谷川 直 (宇宙研)
10:15	L04a	Search for the Near-Sun Objects in the SOHO Coronagraphic Images: Limiting Detectable Size Dermawan, B. (東京大学理学部天文学)、 Nakamura, T. (国立天文台、三鷹)		 	リニア彗星 (C/1999 S4) のモニター観測 室井恭子(東京学芸大学)、中島 崇、 福島英雄、渡部潤一(国立天文台) Hale-Bopp 彗星 (C/1995 O1) の核から離
10:30	L05a	小惑星ミッション:MUSES-C 搭載用可 視多バンドカメラ(AMICA)の開発とサ イエンス 中村 士(国立天文台)、D.Tholen (Univ. of Hawaii)、中村昭子(神戸大)、 斎藤 潤(西松建設)、佐々木 晶(東大)、 中村良介(NASDA-EORC)、出村裕英、 秋山演亮(東大)、AMICA チーム		L16b	れたダストジェット状構造 田辺玲奈、室井恭子(東京学芸大)、 Heike Rauer (DLR)、Catherine Delahodde、 Hermann Boenhardt (ESO)、福島英雄、 渡部潤一(国立天文台) 過去 29 年間のふたご座流星群の活動 泉 潔(群馬県立前橋西高)
10:45	L06a	パターン認識の手法による小惑星検出法 の開発 板垣和幸、三浦則明(北見工業大学)	12:00	L17b	日本における 1999 年しし座流星群の昼間流星観測報告 芹澤寛隆、戸田雅之(日本流星研究会)
11:00	L07a	IRTS/MIRS の中間赤外線観測による惑星 間ダストバンドの研究 大坪貴文、尾中 敬、石原大助(東大 理)、山村一誠(宇宙研)	ポスク	フーのみ L18c	2000 年しし座流星群流星痕同時観測 キャンペーン(案内版) 戸田雅之(日本流星研究会)、山本真 行(東北大理)
11:15	L08a	地上観測に基づく、惑星間塵の空間構造 の推定 吉下千秋、石黒正晃、田口優介(神戸 大自然)、中村良介(宇宙開発事業団)、 向井 正(神戸大自然)		L19c	微小ベルト小惑星のすばる望遠鏡サーベイによるサイズ分布の見積り (2) 吉田二美 (神戸大自然/国立天文台)、中村 士 (国立天文台)
11:30	L09b	原始月円盤の進化に対する粘性加熱の効果 武田隆顕、井田 茂 (東工大)		L20c	73P/Schwassmann-Wachmann 3 関連流 星群の出現可能性 谷川智康(兵庫県立尼崎高)
	L10b	観測者直下点および太陽直下点の近傍に おける惑星面偏光度の分布 川端 潔(東京理科大学理)		L21c	開状星団の解散と惑星形成 小林 浩、井田 茂(東工大理)

M. 太陽 (F 会場)

10/6(金	`		10/6(金	.)	
		「ようこう」衛星 硬 X 線望遠鏡 (HXT) を 用いた かに星雲の硬 X 線撮像観測 杉保昌彦、松本 縁、牧島一夫(東大理)、 小杉健郎、坂尾太郎(宇宙研)			Sunspot Evolution and Its Relation with Flare Activity Level 石井貴子、黒河宏企(京大理附属天文台)
09:15	M02a	非標準進化太陽モデルと日 震学 渡辺 悟、柴橋博資(東大理)		M13b	Light Bridge with Surges Formed in the Active Region NOAA 8971 浅井 歩、石井貴子、黒河宏企(京大
09:30	M03a	密度成層効果を考慮した3次元球殻対流 シミュレーション		 	理)
		西川憲明、草野完也(広島大先端)		M14b	1999 年 2 月 16 日に飛騨 FMT で観測された Moreton 波
	 	太陽活動領域の helicity の緯度分布 萩野正興(明星大情報)、桜井 隆(国 立天文台)		 	高津裕通、柴田一成、森本太郎、磯部 洋明、衛藤 茂(京大花山天文台)、北 井礼三郎(京大飛騨天文台)、横山央明、 下条圭美(国立天文台野辺山)
10:00	M05a	マグネトグラム観測に基づく活動領域磁 場のエネルギーとヘリシティ			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	 	真栄城朝弘、草野完也(広島大院先端)、 横山央明、桜井 隆(国立天文台)、陰 山 聡(核融合科学研)	14:00	M15a	EIT wave と同時観測された Moreton wave について 衛藤 茂、磯部洋明、成影典之、森本太
10:15	M06a	1999 年 8 月 11 日の皆既日食におけるフラッシュスペクトルの偏光観測		1 1 1	郎、浅井 歩、柴田一成、黒河宏企(京大理)
	 	米嶌和香子、高橋典嗣、平山 淳、鈴木大輔、山崎高幸(明星大)、飯塚康至(明星大OB)	14:15	 M16a 	カスプ型フレアの多波長観測 I. フィラメント噴出と EIT wave 森本太郎、磯部洋明、高津裕通、衛藤
10:30	M07b	浮上磁場の 3 次元モデル:対流の効果 その 2			茂、成影典之、柴田一成(京大理)、横 山央明、下条圭美(国立天文台野辺山)
	 	野澤 恵(茨大理)、柴田一成(京大花 山天文台)	14:30	M17a	カスプ型フレアの多波長観測 II. Decay Phase におけるリコネクションレートの 導出
1	М08Ь	光球磁気リコネクションにおける対流の 影響について 竹内彰継(米子高専)	į		磯部洋明、森本太郎、高津裕通、衛藤 茂、成影典之、柴田一成(京大理)、横 山央明、下条圭美(国立天文台野辺山)
	M09b	アルフベン波によって生成されるスピキュールの 2 次元モデル	14:45	M18a	Gamma Rays and Neutrons from the 1997 November 6 Flare
	 	斉藤卓弥(東大理)、工藤哲洋(国立 天文台)、柴田一成(京大理)		, 	M. Yoshimori, K. Suga, S. Nakayama,H. Takeda, H. Ogawa (Rikkyo University),G. H. Share, R. J. Murphy (NRL)
	M10b	光球面同一領域の飛騨・乗鞍偏光同時観測によるデータの比較検討 II 上野 悟、北井礼三郎、吉村圭司(京大理)、篠田一也、一本 潔(国立天文台)、山崎高幸(明星大)	15:00	 M19a 	Source Structures of A Microwave Burst with Slow Frequency Drift on November 28, 1998 Guangli Huang and Hiroshi Nakajima
10:45	M11b	磁束管浮上領域内の、Hα線像での、あ る種の黒い模様の様子	15:15	M20a	(Nobeyama Radio Observatory) フレアの磁気流体シミュレーション
	 	吉村圭司、黒河宏企(京大理附属天文 台)		 	熱伝導・彩層蒸発・放射冷却の効果 横山央明(国立天文台)、柴田一成 (京大理)

1 0/6(金 15:30		強いフレア活動を起こした NOAA9026 領域の浮上磁束管構造について 黒河宏企、王同江、石井貴子、吉村圭 司、高津裕通、森本太郎、浅井 歩、北 井礼三郎、上野 悟、磯部洋明、柴田 一成(京都大理附属天文台)		M32a	コロナX線強度の微少変動から得られる ナノフレアのエネルギー分布 勝川行雄(東大理)、常田佐久(国立天 文台) コロナ加熱詳論と太陽風の質量流速の起
15:45	M22a	プロミネンス上昇と粒子加速 柴崎清登(国立天文台野辺山)		1 1 1	源 平山 淳(明星大情報)
1 0/7 (土 09:00		硬いスペクトルをもつ impulsive フレア における加速電子の振る舞い 中島 弘、横山央明、柴崎清登、下条 圭美(国立天文台野辺山)	13:30	M34a 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	太陽からの質量放出とストリーマーの関係 堀 久仁子、Culhane, L. (Mullard Space Science Lab.)、国立天文台野辺山電波 ヘリオグラフチーム
09:15	M24a	フレアループ上空に存在する高温領域の 時間及び空間変化について 秋山幸子(総研大)、原 弘久(国立天 文台)		 	Halo CME の成因について 秦 正樹、内田 豊(東京理科大理) An Emerging Flux Trigger Mechanism
09:30	M25a	Post-Flare Loops of Transient Brightenings 下条圭美(国立天文台)、黒河宏企、 吉村圭司(京大理)	17.00		for Coronal Mass Ejections Chen, P. F. (南京大)、○柴田 一成 (京大理)
09:45	M26a	「ようこう」HXT によるループフレア初相の超高温 X 線源 羽賀良太郎、内田 豊(東京理科大理)、 M. Wheatland、D.Melrose(School of Physics, University of Sydney)、吉武 勲 (東京理科大理)		1 1 1 1 1 1 1	Magnetodynamic Driving of loop-type Coronal Mass Ejections R. Cameron (SUT), Y. Uchida (SUT), T. Miyagoshi (NAOJ) and S. Hirose (SUT)
10:00	M27a	天体における High β領域から Low β領域への電磁流体捻れ Alfvén 波の伝播音川真徳、内田 豊(東京理科大理)、D. Galloway(シドニー大学)、中村雅徳、廣瀬重信		M38a 	CME ソースリージョンの構造・2000 年 2月 26 - 27 日の CME 花岡庸一郎(国立天文台)
10:15	М28Ь	磁場浮上に伴い進化する活動領域コロナ 久保雅仁(東大理)、清水敏文、常田 佐久(国立天文台)、B.W.Lites(NAO/ NCAR)		М39с	CME とコロナルホールは磁気座標系の 定位置に発生する 斎藤尚生(東北大 OB)
	М29Ь	フレアに伴うコロナ中ループ振動の3次元 MHD シミュレーション 宮腰剛広(総研大)、横山央明(国立 天文台)、下条圭美(国立天文台)			
	M30b	The Modeling of Solar Coronal Field associated with Flare-CMEs WANG Tongjiang, YAN Yihua, and WANG Jialong			
	М31Ь	惑星間空間衝撃波による粒子加速 吉田龍生 (茨城大理)、田光江 (通総 研平磯)、山下和之 (千葉大総情セ)			

N. 恒星 (C 会場)

1 0/6(金) 09:00		双極星雲 IRAS 19312+1950 からの SiO 及び H ₂ O メーザーの検出 中島淳一(総研大/NRO)、出口修至 (国立天文台野辺山)	10/6(金)	藤本光昭(名大理)、佐藤文隆(京大理)、大西浩次(長野工業高専)、P. C. M. Yock、I. A. Bond、N. J. Rattenbury (オークランド大)、J.Hearnshaw、P. Kilmartin(カンタベリー大)、D. Sullivan、
09:15	N02a	早期 M 型超巨星における水蒸気の存在 II. A Final Word Based on the Spectra form the ISO Archives 辻 隆(東大理)		N11b	B. Carter(ピクトリア大) J - Net による水メーザー源 — QSO ペアに対するアンテナ高速スイッチング相対 VLBI 観測
09:30	N03a	「NaD 線特異」炭素星 平井正則(福岡教育大学地学)		 	今井裕、三好真、宮地竹史(国立天文台 VERA 推進室)、中島淳一(総研大/NRO)、出口修至(NRO)、朝木義晴(宇宙
09:45	N04a	光学炭素星における星周層ガス起源の C ₂ スワンバンドの発見 泉浦秀行、小矢野久、柳澤顕史、岡田 隆史、吉田道利、清水康広、渡辺悦二、 乗本祐慈、浦口史寛、前原英夫(国立 天文台)、増田盛治(京大理)、泉浦絵 美(岡山大理)	14:00	N12a	研)、中島潤一、川合栄治(通総研鹿島) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
10:00	1 N05a	球状星団における恒星内部の物質混合に よる水平分枝の形状 須田拓馬、藤本正行(北大理)	14:15	N13a	RS Ophiuchi: la 超新星爆発直前の星か? 蜂巣 泉(東大総合文化)、加藤万里子 (慶応大学)
10:15	N06a	金属欠乏星の Keck HIRES スペクトルの 解析 (III): アルファ過程元素の振る舞い 比田井昌英(東海大文明研)、竹田洋 一(東大理)、佐藤 静(東海大工)、 W.L.W. Sargent、L. Lu、T.A. Barlow	l	N14a	極超新星 1998bw の光度曲線とスペクトル中村敬喜(東大理)、Mazzali P.A. (トリエステ天文台、東大ビッグバンセンター)、野本憲一(東大理)、岩本弘一(日大理工)
10:30	 	(Caltech)、寿岳 潤(文明研) Metal-poor AGB star における s- プロセ	14:45	N15a	種族 III 星の超新星爆発時における軽元素 合成 吉田 敬、橋本正章、山岡 均(九大理)
		ス元素の合成 岩本信之、梶野敏貴、G. J. Mathews、 青木和光(国立天文台)、藤本正行 (北大理)	15:00	N16a	種族 III 大質量星の上限質量 白水麻里意、梅田秀之、野本憲一(東大理)
10:45	N08b	s- 過程元素過剰な超金属欠乏星における 鉛の検出	15:15	N17a	磁気圧駆動型 r-process 元素合成 長滝重博(東大理)
	, 	青木和光、安藤裕康(国立天文台)、 J. E. Norris (Australian National Univ.)、 S. G. Ryan (Open Univ.)、T. C. Beers (Michigan State Univ.)	15:30	N18a	r-process in prompt explosion of supernova 住吉光介(沼津高専)、寺澤真理子 (東大理/理研)、山田章一(東大理)、 鈴木英之(東京理科大)、G. Mathews (Univ. Notre Dame)、梶野敏貴(国立天文台)
	N09b - 	おうし座 RV 型星における 2:1 共鳴:線 形模型による検討 石田俊人(兵庫県立西はりま天文台)	15:45	N19b	食連星 YY Eri の最近の公転周期変化 軽部智一、村山哲康、森田亜希子、筑
	N10b	大マゼラン雲の変光星の研究 Ⅳ 野田祥代、村木 綏、阿部文雄、増田 公明、松原 豊、さこ隆志、柳沢俊史、		 	井綾子、出口夏奈子、岡崎 彰(群大 教育)、永井和男、清田誠一郎(VSOLJ)
		住 貴宏、野口周久、山田亮子、高見幸司(名大STE研)、竹内峯(東北大理)、 関口真木、本田守広(東大宇宙線研)、河辺征次、小林誠、中村卓史(京大基研)、波瀬芳行(高工研)、宮本昌典、		 	アルゴル系 RZ Cas は roAp 型? δ Sct 型? それとも? 鳴沢真也(西はりま天文台)、神戸栄治 (防衛大)、藤井 貢 (JAPOA)、定金晃 三 (大阪教育大)、大島 修 (鴨方高校)
	l 	吉沢正則、本間希樹、官谷幸利(国立天文台)、斎藤敏治(都立航空高専)、 寿岳 潤(東海大文明研)、佐藤修二		N21b	近接連星 GR Tau の非対称光度曲線 黒田明子(新潟県黒崎小学校)、水野 孝雄(東京学芸大)

10/5/10			10/7/-	`	
1 0/7(土) 09:00		高速で微分回転するポリトロープの	1 0/7 (土 10:45		回転流体における分子粘性のモンテカル
		r-mode の計算法の確立 鴈野重之(東大総合文化)、吉田慎一郎 (SISSA)、江里口良治(東大総合文化)		! ! ! !	口計算 小山亜希子、藤原秀和、松田卓也(神 戸大自然)
09:15	N23a	準平衡状態にある連星中性子星 — 同期 回転をしている連星系の進化 —		N36b	降着円盤内磁気乱流のカオス・モデル 中尾泰士(奈良産大経営)
	 	臼井文彦(東大総合文化)、瓜生康史 (SISSA)、江里口良治(東大総合文化)		N37b	光学的に厚い移流優勢降着円盤における 元素合成 藤本信一郎、松葉龍一、荒井賢三(熊
09:30	N24a	パルサー磁気圏からのγ線輻射:TeV スペクトル		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	藤本信一郎、松葉龍一、光开貞三(R 大理)、小池 修、橋本正章(九大理)、 嶺重 慎(京大理)
Y	 	広谷幸一(国立天文台)	13:00	N38a	「あすか」による、強磁場激変星を用い た共鳴散乱の検証 II
09:45	N25a	「あすか」による X 線連星ミリ秒パルサー SAX J1808.4-3658 の静穏時の観測 堂谷忠靖(宇宙研)、浅井和美(神奈		 	专田幸功、牧島一夫(東大理)、石田 学、藤本龍一、松崎恵一(宇宙研)
	! 	川大)、R. Wijnands(MIT)	13:15	N39a	近傍の渦巻き銀河に見られる大光度 X 線 源の正体
10:00	N26a	SMC内のX線連星パルサーAX J0049- 732の発見 植野 優、横川 淳、今西健介、小山勝		 	牧島一夫、久保田あや、古徳純一(東 大理)、水野恒史(広大理)
	 	二(京大理)	13:30	N40a	高速自転する中性子星と降着円盤の磁気的相互作用の二次元数値実験(2)
10:15	N27b	相対論的な星の慣性モーメントに与える 磁場の影響 金野幸吉、小嶌康史(広島大理)		 	加藤成晃(千葉大自然)、林 満(国立 天文台)、松元亮治(千葉大理)
	N28b	ヘリウムフラッシュモデルと最近の I 型	13:45	N41a	降着円盤の大局的3次元散逸性MHD数 値実験:X線強度の時間変化
		X線バーストの観測 小池 修、黒水玲子、橋本正章 (九大理)、 荒井賢三 (熊大理)、藤本正行 (北大理)		! !	町田真美(千葉大自然)、中村賢仁 (JST)、嶺重 慎、川口俊宏(京大理)、 松元亮治(千葉大理)
1	N29b	SMC で新たに発見された3個のX線パルサー 横川 淳、植野 優、今西健介、辻本匡 弘、小山勝二 (京大理)、鳥居研一 (宇宙開発事業団)、幸村孝由(阪大理)	14:00	N42a	宇宙ジェットのコリメーション:磁気流体力 学の数値シミュレーションからのアプローチ 工藤哲洋(国立天文台)、松元亮治(千 葉大理)、柴田一成(京大花山天文台)
	N30b	ASCA によるミリ秒パルサー PSR J1744-1134 および B1957+20 の観測 我妻良一、柴田晋平(山形大理)、河	14:15	N43a	『あすか』による SS 433 連星周期観測 並木雅章、河合誠之(理研)、小谷太郎 (NASA/GSFC)
	 	合誠之、根来 均、桜井郁也(理研)、 斉藤芳隆(宇宙研)、鳥居研一 (NASDA)、平山昌治(UCSC)	14:30	N44a	ASCA Observation of SS Cygni in an Outburst and a Quiescence Putra Mahasena, 石田学、井上一(宇宙研)
10:30	N31b	「あすか」衛星による未同定ガンマ線天 体 GEV 1837-0610 の観測 坂本貴紀、河合誠之(理研)、R. Romani (Stanford Univ.)、岡 朋治(東大理)	ポスター		回転中性子星における軸性振動の特徴と 放射反作用不安定性 小嶌康史(広島大理)
	N32b	ホワイトノイズ解析を用いたブラックホール候補星の超短時間変動の性質について 根来 均 (理研)、飛田武幸(名城大)		N46c	SiO Maser Emitting AGB Stars in the North Galactic Cap 板 由房、中田好一(東大理)
	N33b	超大光度 X 線源のスリムディスクモデル 渡会兼也、嶺重 慎 (京大理)、水野恒 史 (広大理)		N47c	RV Tau 型星の固有偏光の特徴 吉岡一男(放送大)、佐藤英男(国立天 文台)、西城恵一(国立科学博物館)
1	N34b	ニュートリノ冷却をもつ降着流 松葉龍一、荒井賢三、藤本信一郎(熊 大理)、橋本正章(九大理)		N48c	相似楕円体モデルに基づく表面斑点を取 り込んだ簡易版光度曲線合成法 中村泰久、田中亜樹、尾形由佳理(福 島大教育)

P. 星形成(D会場)

1 0/6(金 14:00	P01a	CO 分子輝線観測 齋藤弘雄、松永健一郎、浅山信一郎、 大西利和、水野 亮、福井康雄(名大理)	1 0/6(金 15:30		Orion KL 領域の 2mm ダスト連続波の NMA / レインボー干渉計観測 百瀬宗武(茨大理)、北村良実(宇宙 研)、横川創造(総研大)、森野潤一、 川辺良平(国立天文台)
14:15	i P02a 	進化した巨大分子雲 NGC6357 からの X 線輻射 松崎恵一、小澤秀樹(宇宙研)、関本 裕太郎(国立天文台野辺山)	15:45	P11b	Outflow in the Orion-KL Region: Aperture Synthesis of HCO+ (J=1-0) Molecular Emission
14:30	P03a	η - Car 星雲における Triggerd star formation 浅山信一郎、加藤滋郎、大西利和、水 野 亮、福井康雄(名大理)		P12b	斎藤智樹(東大理)、川辺良平、百瀬 宗武、阪本成一、鎌崎 剛 RAINBOW による W49A の SO 観測
14:45	P04b	BEARS による、S242 方向の ¹³ CO 分子 スペクトルマッピング 河村晶子(東大理)、砂田和良(国立		 	宮脇亮介(福岡教育大学)、長谷川 哲夫 (東大理センター)、林 正彦(国立天 文台)
	P05b	天文台野辺山)、大西利和(名大理) 近赤外一可視光撮像観測による、銀河面 に埋もれた星団の観測 中屋秀彦(国立天文台ハワイ)、渡辺 誠、長田哲也、佐藤修二(名大理)		P130	NGC7538 領域のサブミリ波ダスト連続 波のイメージング偏波観測 百瀬宗武(茨大理)、田村元秀、亀谷 收、森野潤一(国立天文台)、Greaves, J. (JAC)、Chrysostomou, A.、Hough, J. H. (Hertfordshire 大)
	P06b	おおかみ座星形成領域 Lupus3 における 前主系列4重星系と高密度コア候補天体 中島 康(名大理)、大朝由美子(東大 理)、伊藤洋一、田村元秀、すばる望遠 鏡チーム(国立天文台)、CISCOチー ム(京大理)		P14b	ASTRO-F/IRCによる星形成〜惑星 形成に関する観測計画 上野宗孝(東大総合文化)、村上 浩、 北村良実(宇宙研)、大坪貴文(東大 理)、中島 紀、田村元秀(国立天文 台)、他 ASTRO-F星形成惑星形成 WG
	P07b	すばる十 COMICS による ultracompact HII 領域の中間赤外線観測 (1) K3-50A, G45.12+0.13 岡本美子、片坐宏一(東大理)、山下 卓也、宮田隆志、中村京子(国立天文 台)、酒向重行、田窪信也、本田充彦 (東大理)、すばる望遠鏡チーム	 1 0/7 (± 09:00	P15a	分子雲コアの重力収縮と分裂、分裂片の 合体と生き残り 松本倫明(法政大人間環境)、花輪知幸 (名大理)
15:00	P08a	すばる望遠鏡 IRCS による NGC 2024 IRS 2 の高分散エシェル分光観測 後藤美和、小林尚人、寺田 宏(国立 天文台)、Alan Tokunaga(IfA/Univer	09:15	P16a	回転ガス円盤からの first core 形成と非軸 対称進化 西合一矢、花輪知幸(名大理)、松本 倫明(法政大)
	 	sity of Hawaii)、すばるチーム	09:30	P17a	Toomre-林ガス円盤の軸対称なゆらぎへの安定性
15:15	P09a	野辺山ミリ波干渉計による高密度分子雲 コアの詳細観測 小出直久、斎藤弘雄、森口義明、水野 克、福井康雄(名大理)	09:45	 P18b	花輪知幸、西合一矢(名大理)、松本 倫明(法大人間環境) 磁気雲における自己重力不安定性の3次
				 	元 MHD 数值実験 梅川通久(千葉大理)

					•
10/7(土) P19b 	原始星の SED と真の光度の関係について	1 0/7 (土 13:00		星形成を伴う分子雲のエネルギー収支と 寿命
	 	中里 剛、中本泰史、菊地信弘(筑波 大物理)			中野武宣 (京大理:非常勤)、長谷川 哲夫 (東大理天文センター)
	P20b	若い星の SED によるクラス分けは本当 に進化を反映しているのか? 菊地信弘(筑波大計算物理)	13:15	P30a	分子雲コアの質量分布関数の理論 犬塚修一郎(国立天文台)
	P21b	A Shock Heating Model for Chondrule Formation 飯田 彰(筑波大計算物理/神戸大自然)、中本 泰史、須佐 元(筑波大計算物理)、中川 義次(神戸大理)	13:30	P31a	へびつかい座北部領域の H ¹³ CO ⁺ 高密度 分子雲コアサーベイ 山本宏昭(名大理)、立原研悟(MPE)、 浅山信一郎、松永健一、齋藤弘雄、早 川貴敬(名大理)、河村晶子(東大理)、 大西利和、水野 亮、福井康雄(名大理)
	 	ASCA による R CrA 星形成領域の長期 X 線時間変動モニター 濱口健二、小山勝二(京大理)	13:45	P32a	おうし座における高密度分子ガス塊の進化2 大西利和、浅山信一郎(名大理)、河村晶子(東大理)、水野 克、福井康雄
10.15	P238	Chandra 衛星による RhoOph 星形成領域の X 線観測 今西健介、濱口健二、小山勝二(京大理)、 坪井陽子(ペンシルバニア州立大)	14:00	P33a	(名大理) 星形成コアにおける分子組成分布:重力 収縮の時間スケールを探る 相川祐理(神戸大学理)、大橋永芳
10:30	P24a	ブライトリム分子雲で見つかった小さな ハービッグ・ハロー天体 小倉勝男(国学院大学)、杉谷光司(名 古屋市立大学)			(Academia Sinica)、犬塚修一郎(国立 天文台)、Eric Herbst(Ohio State Univ.)、 高桑繁久(Academia Sinica)
10:45	P25a	CH ₃ OH 輝線による、原始星 IRAM 04191+1522 からのアウトフローと分子 雲コアの相互作用領域の発見 高桑繁久、大橋永芳 (ASIAA)、平野 尚美 (国立天文台)、百瀬宗武 (茨城 大学)、前澤裕之 (東京大学)	14:15	P34a	An NMA Survey for Dynamical Infalling Envelope in Nearby Star Forming Regions 平野尚美(総研大)、土橋一仁(学芸大)、大橋永芳、新永浩子(ASIAA)、林 正彦(国立天文台ハワイ)
11:00	P26b	HH83 ジェット中の特異な H₂knots 仲野 誠(大分大教育)、杉谷光司(名 古屋市大自然セ)、小倉勝男(國學院 大)	14:30	P35a	Haro6-5B 星周ダスト円盤の高分解能ミ リ波連続波観測 横川創造(総研大)、北村良実、百瀬 宗武、川辺良平
	P27b	LkHα 234星形成領域における水メーザー 源の VLBI 観測 梅本智文(国立天文台)、今井 裕(国 立天文台水沢)、斉藤正雄(CfA)、北 村良実(宇宙研)、川辺良平(国立天 文台野辺山)		P36a ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	ダスト円盤のリング状構造は惑星形成の 証拠となりうるか? 竹内 拓、Pawel Artymowicz(ストック ホルム天文台)
	P28b	BEARS による H ¹³ CO ⁺ コアのサイズ― 線幅関係の観測的研究 米倉覚則、岸 幸正、小川英夫(大阪 府大総合科学)、砂田和良(NRO)		P37c	S255 領域にみる大質量星の形成と進化 伊藤洋一、田村元秀、周藤浩士、林 左絵子(国立天文台)、大朝由美子 (東大理)、村川幸史(ハートフォード シャー大)、中島 康(名大理)
L	l ————	<u> </u>			

Q. 星間現象 (D 会場)

1 0/5 (木 09:30		「なんてん」による小マゼラン銀河の ¹² CO スペクトル観測 水野範和、山口玲子、大西利和、水野 亮、福井康雄(名大理)、Monica Rubio (チリ大学)、米倉覚則(大阪府大)	1 0/5 (木 11:30		Chandra 衛星による X 線反射星雲 Sgr B2 の高空間分解観測 村上弘志、辻本匡弘、千田篤史、小山 勝二(京大理)、前田良知(Penn State 大)、坂野正明(NASDA)
09:45	Q02a	近傍系外銀河の星間物理状態 根岸武利、尾中 敬 (東大理)	11:45	Q13a	BEARS によるいて座 B2 衝突分子雲の C ¹⁸ O / HNCO イメージング 佐藤文男(東京学芸大)、長谷川哲夫
10:00	Q03a	¹³ CO J=2-1 輝線による銀河面サーベイ 澤田剛士、半田利弘、長谷川哲夫、山 本文雄(東大理)、森野潤一、阪本成	12.1.00		(東大理)、J.B. Whiteoak (ATNF)、神 鳥 亮 (東京学芸大)
10:15	Q04a	ー (NRO)、T. Dame (CfA) 銀経 30 度方向の、CO J=1-0, 2-1, 3-2 輝	12:00	Q14b	Dissociative Recombination of H ₃ *.I 田代基慶(京大物理)、山本武志、加 藤重樹(京大化学)
		線観測 長谷川哲夫、山本文雄、澤田剛士、半 田利弘(東大理天文センター)、池田 正史、山本 智(東大理物理)、T. M. Dame (CfA)		Q15b	富士山頂サブミリ波望遠鏡による近傍分 子雲の [CI] 輝線観測 岡 朋治(東大理)、他富士山頂サブミ リ波望遠鏡グループ
10:30	Q05a	「なんてん」によるケンタウルス座領域 の分子雲サーベイ:ホール状構造 松永健一、大西利和、水野 亮、福井 康雄(名大理)		 	SgrB2 分子雲における H ₂ CO 輝線の観測 池田美穂、大石雅寿(国立天文台)
	ı		10/6(金		
10:45	Q06b	SSPSF よる kpc スケールの星形成活動 進化モデル 野村英子、釜谷秀幸(京大理)	09:00	Q17a	X線衛星「あすか」による超新星残骸 G0.56-0.01 の発見 千田篤史、村上弘志、河野 誠、小山 勝二(京大理)、坂野正明(NASDA)、
	Q07b	星間ガスの二相構造について 小山 洋 (国立天文台/東大理)、犬塚 修一郎 (国立天文台)	09 15	 	前田良知(Pennsylvania 州立大) 北天の系内超新星残骸に対する12CO
	Q08b	作学反応ネットワーク流体力学数値シ ミュレーションによる分子雲化学進化の 研究	07,13	Q10a	(J=2-1) 輝線による無作為広域サーベイ 山本文雄、長谷川哲夫、澤田剛士、半 田利弘(東大理)
	[上原英也(国立天文台)	09 ; 30	Q19a	「なんてん」による系内 SNR の12CO (J=1-0) 観測: Puppis A, RCW86
	Q09b	HI-H ₂ トランジション領域における分子 雲の微細構造 澤田剛士、長谷川哲夫(東大理)、森		 	森口義明、大西利和、水野 克、福井 康雄(名大理)
) 	野潤一(NRO)	09:45	Q20a	BEARS による Taurus-Auriga の ¹³CO (1-0) 観測
11:00	Q10a	「なんてん」によるオリオン座 A 星領域 の CO (J=1-0) 観測 青山紘子、水野範和、浅山信一郎、大 西利和、水野 亮、福井康雄(名大理)	10 . 00	 	森野潤一、砂田和良、宮崎敦史(国立 天文台野辺山)、北村良実(宇宙研)、 犬塚修一郎(国立天文台理論)
11:15	Q11a	「なんてん」によるおおいぬ座領域分子 雲の1 ² CO 観測 岸 幸正、米倉覚則、小川英夫(大阪 府大総合科学)、福井康雄(名大理)	10.00	Q218 	暗黒星雲コア L1521E における分子輝線 観測 広田朋也 (鹿児島大理)、山本 智 (東 大理)
	_				

10/6(金) ポスターのみ 10:15 Q22a Constraints on the Identification of the 22 Q30c 「なんてん」望遠鏡による銀河面 CO μm Emission Feature サーベイ Kin-Wing Chan, Takashi Onaka (東大院 水野 亮、浅山信一郎、松永健一、阿 理)、and Thomas L. Roellig (NASA 部理平、斉藤弘雄、山口玲子、森口義 ARC) 明、青山紘子、吉川奈緒、早川貴敬、 原 淳、水野範和、小出直久、豊田秋 10:30 | Q23a Fe/Mg 組成比による結晶質オリヴィンの 一郎、山本宏昭、大西利和、福井康雄 スペクトルの変化 (名大)、米倉覚則、小川英夫(大阪府 小池千代枝 (京都藥大)、茅原弘毅、 立大)、河村晶子、山口伸行(国立天 土'山 明 (阪大理)、寒川尚人 (京都 文台野辺山) 薬大)、周藤浩士 (国立天文台ハワイ) 10:45 'Q24a The Optical Constant of the Hightemperature Condensation Species: Crystalline Spinel (MgAl₂O₄) 茅原弘毅 (阪大理)、小池千代枝、寒 川尚人(京都薬大)、土'山 明(阪大 理) 11:00 Q25a Anomaly of Narrow Emission Line in Heavily Disturbed Low Ionized Gas. 釜谷秀幸 (京大理) 11:15 Q26b H II 領域の衝撃波に包まれた分子雲の力 学的谁化 福田尚也、花輪知幸(名大理) Q27b MgS グレインの形態と赤外スペクトル の相関 木村誠二、墻内千尋(立命館大理工)、 小池千代枝 (京都薬科大) Q28b コンパクト HII 領域 W51IRS2 の近赤外 分光観測 奥村真一郎、山下卓也、渡辺悦二(国 立天文台)、森 淳 (東大理)、西原英 治(ぐんま天文台) Q29b OASISによる Young Stellar Objectsの 近赤外分光観測 石井未来、加藤大輔、長田哲也、佐藤 修二(名大理)、姚永強(紫金山天文台)

R. 銀河(A 会場)

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
10/5(木)		10/5(木	3)	
		クエーサーの重力位置揺らぎと MACHO	·		Synthesis Imaging of Dense Gas in the Central
	I	ハロー分布		 	Region of the starburst galaxy NGC 3628
	i	大西浩次 (長野高専)、細川瑞彦 (通		İ	芝塚要公(東大理)、松下聡樹(CfA)、
	[信総研)、福島登志夫(国立天文台)		1	河野孝太郎、川辺良平(国立天文台野辺山)
	I	TEMPORAL TEMPORAT TEMPORAL TEMPORAT TEM		i	
09:45	R02a	Global Structure of the Stellar Halo prior	11:45	R13b	野辺山ミリ波干渉計と 45m 鏡による 1 型
	l	to Disk Formation		Į.	Seyfert 銀河 NGC1097 の HCN/CO 輝線観測
	[千葉柾司 (国立天文台)		 	河野孝太郎、川辺良平、石附澄夫(国
	i i	, No. 7 (Camp 12 12 17)		İ	立天文台野辺山)
10:00	R03a	HIPPARCOS 衛星による太陽近傍星の年		l I	
	l	齡 - 金属量関係		R14b	渦状銀河の表面測光と力学モデル
	[[伊吹山秋彦、有本信雄(東大理)		1	赤坂達生、岡根行孝*、横尾武夫(大阪
	Ĺ			1	教育大学、*宇治市総合野外活動センター)
10:15	 R04a	Detection of outer Galactic rotation through		DISL	Jバンドでのバルジとディスクの質量光
	l	phase-referencing VLBI astrometry of water		KISD	度比と年齢
	! !	masers		i	吉野 彰、市川 隆(東北大理)
	1	蜂須賀一也(総研大)、VERA Project		1	
	! 	Team (国立天文台)		R16b	非対称性と中心集中度を用いた近傍銀河
	1	·		I I	の定量分類
10:30	R05a	銀河中心領域の X 線大局構造(IV)—		I	中村佳博、〇土居 守、嶋作一大、岡村
	!	星生成活動史		1	定矩(東大理)、八木雅文(国立天文台)
	i	坂野正明(NASDA)、小山勝二、村上		i	
		弘志(京大物理)、前田良知(Pennsylvania	10/6(金)	
	i	州立大)、山内茂雄(岩手大)、「あす	09:00	R17a	銀河系星形成史の非線形開放系モデルに
	1	か」銀河面銀河中心サーベイチーム		1	よる解釈
	i			1	平下博之(京大理)、Andreas Burkert
10:45	R06a	「あすか」による M31 の観測		! !	(MPIA)、竹内 努(名大理)
	ĺ	高橋弘充、岡田 祐、牧島一夫(東大		I	
	! !	理)、満田和久(宇宙研)	09:15	R18a	BCD 銀河のコンパクトな星形成活動領域
	!			I I	の維持機構
11:00	R07a	近傍銀河 M33 にある X 線点源の「あすか」		i	田尻愉香、釜谷秀幸(京大理)
	1	による解析		 	
	i I	岡田 祐、高橋弘充、牧島一夫(東大	09:30	R19a	銀河の星形成率評価処方へのダスト減光
	l I	理)、満田和久(宇宙研)		1	補正の重要性
	ļ			İ	井上昭雄、平下博之、釜谷秀幸(京大理)
11:15	R08a	「あすか」による NGC7252 の観測		! 	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
		栗木久光(愛媛大理)、松本浩典(MIT)、	09:45	R20a	Evolution of dusty starburst galaxies. V.
	l I	冨田 洋(NASDA)		! 	Ultraluminous IR Galaxies
	1			l ·	塩谷泰広 (東北大理)、戸次賢治 (国
11:30	R09 b	ミリ波における Sagittarius A* のフレア II		, I	立天文台)
	1	宮崎敦史(国立天文台野辺山)、堤貴	40	 	ᄻᆁᄱᄝᇒᄼᅛᄱᇃᅩᆚᆛᄝ
	!]	弘(CfA)、坪井昌人(茨城大理)	10:00	; R21a	矮小銀河の進化における環境効果
	R10h	VERA 用参照電波源探査 Ⅱ		 	森 正夫(筑波大計算物理)
	,30 i	小山友明(東大理)、本間希樹、笹尾	10	l Dee	Cooling of the Distribution Franchism
	 	哲夫(国立天文台)、電波源サーベイ	10.15	K22a	Scaling of the Distribution Function under
	I	チーム(国立天文台、通総研鹿島、鹿		!	the Vlassov-Poisson Equations and the
	! !	児島大、九州東海大)		I 	Critical Exponents near the Point of a
	İ			I	Marginal Stability Alexei Ivanov (National Institute for
	R11b			1 	
	l	Regions of Flocculent galaxy NGC5055		ļ	Fusion Science)
	1	濤崎智佳 (県立ぐんま天文台)、塩谷	10 . 30	D22~	熱不安定性が銀河風の構造に与える影響
	1	康広(東北大理)、久野成夫、中西康	10.30	KZJH	熱小女に任か誠州風の得道に子んる影響 の上限
	i I	一郎(NRO)、長谷川 隆、中道晶香、		i	藤田 裕(国立天文台)
	l 	河北秀世(県立ぐんま天文台)		l 	
			L	<u> </u>	

10/6(金)		10/6(金)	
10:45	R24b	棒状構造と銀河 warps は共存できるか? 出田 誠(京大理)、穂積俊輔(滋賀大教育)	15:00	i .	ISO サーベイ IV:遠赤外線源カウントと 銀河進化 —60 億年前のスターバースト 銀河の爆発的発生—
	R25b	銀河団環境下における渦状銀河の星形成 領域収縮シナリオ		 	奥田治之 (ぐんま天文台)、川良公明、 祖父江義明 (東大理)、松原英雄、松
	 	田尻偷香、釜谷秀幸(京大理)			本敏雄(宇宙研)谷口義明、佐藤康則 (東北大)、若松謙一(岐阜大)、竹内努
	 	早期型銀河のポテンシャル構造と星形成史 児玉忠恭(東京大)、松下恭子(MPE)			(名大)、石井貴子、平下博之、吉川耕 司(京大理)、L. L. Cowie、R. D. Joseph、 D.B.Sanders(ハワイ大)
	R27b	Dark Halo の merging process による DLA の起源と進化	15:15	R34a	ISO サーベイ V:ISO 遠赤外線源候補
	; 	大越克也、長島雅裕、郷田直輝(国立天文台)、吉岡 諭(東京商船大)		 	天体の可視光分光観測 村山 卓、谷口義明(東北大)、D.B.Sanders (ハワイ大)、S. Veilleux(メリーランド大)、
11:00	R28b	Prospects of Submillimeter and Millimeter Galaxy Surveys for the Study of Galaxy Formation and Evolution		1	大薮進喜、川良公明 (東京大)、佐藤 康則、松原英雄、奥田治之 (宇宙研)
	1 1 1	竹内 努 (名大理素粒子宇宙物理)、川 邊良平、河野孝太郎、中西康一郎 (国	15:30	R35a	ISO サーベイ VI:赤方偏移 1 を越えるハイパー赤外線銀河の発見
	 	立天文台野辺山)、石井貴子(京大理附属花山天文台)、平下博之、吉川耕		 	谷口義明、村山 卓(東北大)、D.B.Sanders (ハワイ大)、S. Veilleux(メリーランド大)、
14:00	 220 a	司(京大理宇宙物理) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		 	M.S.Yun(NRAO)、大薮進喜、川良公明、 祖父江義明(東大理)、若松謙一(岐阜大)、 佐藤康則、松原英雄、奥田治之(宇宙研)
14.00	R278 	外線銀河のエネルギー源の診断 今西昌俊(国立天文台、IfA)、C. C.	15 · 45	 	佐藤原則、仏原英雄、英田伯之 (子田州) 赤方偏移率 - 後退速度関係の再検討 (そ
	' 	Dudley (Naval Research Laboratory)	15,45	K.50a 	の3空間膨張宇宙における赤方偏移率) 阿武靖彦(一)
14:15	R30a	ISO サーベイ I:ISO 中間赤外線源のカ ウント	ポスタ	'・・・ ターのみ	
	 	佐藤康則(宇宙研)、谷口義明(東北 大理)、川良公明(東大理)、奥田治之		R37c	HI survey data による銀河系の3次元的 構造の決定
	 	(ぐんま天文台)、若松謙一(岐阜大)、 松本敏雄(宇宙研)、祖父江義明(東		D20.	中西裕之、祖父江義明(東大理)
		大理)、松原英雄(宇宙研)L. L. Cowie、 D.B.Sanders、R.D.Joseph(ハワイ大学)		KSoc	VLBI Structure of Sgr A* at 86 GHz Zhi-Qiang Shen (NAO/ISAS) et al.
14:30	R31a	ISO サーベイ II:ISO 遠赤外線源のカウ ント(ロックマンホール)		R39c	CO Observation of the Virgo Spiral Galaxy NGC 4254
	1 1	川良公明、祖父江義明(東大理)、谷 口義明(東北大理)、佐藤康則、松原			Makoto Hidaka、Yoshiaki Sofue、Jin Koda、 Tsutomu Takamiya、Hiroyuki Nakanishi
	 	英雄、奥田治之、松本敏雄(宇宙研)、 若松謙一(岐阜大)、Sanders, Cowie, Joseph(ハワイ大)			(IOA, UT)、Yoshinori Tutui (NHK)、 Mareki Honma (NAOJ)
14:45	 R32a 	・ ISO サーベイ III:遠赤外線輝度の揺らぎ		R40c	精円銀河における外的影響を示すディスク 水野孝雄、中村将行、小山田剛、岡田 友信(東京学芸大)
	 	と 遠赤外線源の分布 松原英雄(宇宙研)、川良公明(東大 理天文センター)、谷口義明(東北大		R41c	Wide and Long Slit を用いた Hubble Deep Field の分光観測
	l 	理)、佐藤康則、奥田治之、松本敏雄(宇宙研)、祖父江義明(東大理天文セ			傳田紀代美 (国立天文台)
	 	ンター)、若松謙一(岐阜大工)、L.L. Cowie, R.D. Joseph, D.B、Sanders(UH)		R42c	銀河団内の衝突銀河の形状について 田川英幸、金光 理(福岡教育大)

S. 活動銀河核(G会場)

10/6(金	,		10/6(金)	
14:00	S01a	BHの形成過程の発見 松下聡樹(CfA)、川辺良平(国立天文 台野辺山)、松本浩典(MIT)、〇鶴 剛 (京大物理)	15:45		スペース VLBI による南天 EGRET-AGN の高分解能観測 輪島清昭(宇宙研)、James E.J. Lovell (ATNF)、小林秀行、藤沢健太(国立 天文台)、平林 久(宇宙研)、坪井昌 人(茨城大理)
14:15	S02a	すばる望遠鏡によるスターバースト銀河 M82 の近赤外分光観測 原島 隆、岩室史英(京大理)、寺田 宏、本原顕太郎(国立天文台ハワイ)、 舞原俊憲、鶴 剛(京大理)、松本浩 典(MIT)、すばる望遠鏡チーム		S12b	A Probe of Distant matter with X-rays — ASCA Observation of the z=4.3 Quasar RXJ1028.6-0844 W. Yuan, M. Matsuoka, S. Ueno (NASDA), H. Kubo (TTT), T. Mihara (RIKEN)
14:30	S03a	M51 の隠れた AGN からの X線放射の検出 深沢泰司(広大理)、伊予本直子(ISAS)、 久保田あや、松本 縁、牧島一夫(東 大理)	1 0/7 (土 09:00		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
14:45	 S04a 	NGC 3079 の X 線観測 伊予本直子(宇宙研)、深沢泰司(広 島大学)、石原裕子(東京大学、天文 台野辺山)、中井直正(天文台野辺山)、		 	亀野誠二、澤田 - 佐藤聡子、柴田克典、 井上 允(国立天文台)、輪島清昭(宇 宙研)
15:00	 	牧島一夫(東京大学) すばる高解像度イメージによる NGC4151 中心核周辺の中性ガス分布	09:15	S14a	「あすか」による電波銀河 Centaurus A の北側アウターローブの観測 磯部直樹(東大理)、田代 信(埼大理)、 牧島一夫(東大理)、金田英宏(宇宙研)
	 	大谷 浩、服部 尭(京大理)、宮崎 聡、 家 正則(国立天文台)、小宮山 裕 (東大理)、佐々木敏由紀、小杉城治 (国立天文台ハワイ)	09:30	S15a	「あすか」による電波ローブの中の粒子・磁場のエネルギー分布の観測 田代 信、牧島一夫、磯部直樹(東大理)、金田英宏(宇宙研)
15:15	S06a 	Where is the [O III] λ 4363 Emitting Region in AGNs? 長尾 透、村山 卓、谷口義明(東北大理)	09:45	S16a	GPS 天体におけるスペクトルピークの前後での偏波角の変化について 武藤睦美、浅田圭一(東理大理)、井
15:30	S07b	The Narrow-Line Region of Seyfert Galaxies: NLS1 vs. BLS1 長尾 透、村山 卓、谷口義明(東北大理)	10 : 00	 \$17a	上 允、亀野誠二、藤沢健太(国立天 文台) 3C 380 の VSOP による偏波観測の結果
	S08b	すばる望遠鏡を用いた NGC 1068 中心核 の中間赤外線撮像観測 友野大悟、土井由行、西村徹郎(国立 天文台ハワイ)			浅田圭一(東京理科大理)、 亀野誠二 、 井上 允、藤沢健太(国立天文台)、沈 志強、輪島清昭(宇宙研)
	S09b	活動銀河核水メーザーにおける新速度成 分の検出 石原裕子(東大理)、中井直正(国立 天文台野辺山)、佐藤奈穂子(北大理)		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Correlation between luminosity and physical condition in AGN 幅 良統、古澤彰浩、山下廣順(名大理)、見崎一民、國枝秀世(宇宙研)
	S10b	「あすか」の観測でえられた「MCG-6-30-15」の鉄輝線の特徴 松本千穂、井上 一(宇宙研)	10:30	1 S19a	Seyfert 1 型銀河 NGC3516 の鉄輝線の時間変動の遅れ 野上杏子、三原建弘、根來 均(理研)、 H.Netzer(Tel Aviv Univ.)

10/7(土	•		ポスターのみ	
10:45	S20b	大局磁場中降着流モデルの各種銀河核へ の適用 II	S30c	狭輝線セイファートI型銀河の相対論的
1		山崎尚宏、鏑木 修 (東北大理)、		降着流モデル 萬本忠宏(千葉大理)、嶺重 慎(京大理)
l	1	紀 基樹(東北大理/大阪大理)		两个心丛(一条八生)、铜里 换(尔八生)
	l 1		S31c	「あすか」による超大光度赤外線銀河
	S21b	輻射圧で加速された相対論的降着円盤風川		(ULIRG) の X 線観測 II
	i	牧井康雄、福江 純(大阪教育大教育)、		米徳大輔、穴吹直久、中川貴雄、藤本
l	1	渡会兼也(京大理)、田島由紀子 (イーハトーブ)		龍一(宇宙研)
	l 1		S32c	The VSOP Survey and its statistical
	S22b		5525	results
1	İ	らの寄与		堀内真司(国立天文台)、J. Lovell
	1	川口俊宏(京大理)、志村俊也(横浜		(ATNF), G. Moellenbrock, E. Fomalont
	1	国立大)、嶺重 慎(京大理)		(NRAO)、Z. Shen、輪島清明、P.
l	S23b	X-ray Microlensing of Corona Disk Model		Edwards、村田泰宏、平林 久(宇宙研)、 小林秀行、井上 允(国立天文台)、他
l	1	高橋労太、川口俊宏、米原厚憲、嶺重		VSOP Survey Working Group
l		慎(京大理)		
11	 	Poloticistic Outfless of Nation To 1915		
111.00	5240 	Relativistic Outflow of Wien Equilibrium Pair Plasma		
	! 	岩本静男、高原文郎(阪大理)		
l	1			
	 !			
13:00	S25a	多重像をもつブレーザー PKS1830-211		
	1	の X 線観測―マイクロレンズによる新し い解釈―		
	ł 	大島 泰、満田和久、太田直美(宇宙		
	l I	研)、米原厚憲(京大理)、関本裕太郎		
		(天文台)、服部 誠(東北大)		
13:15	S260	Evidence of a Characteristic Time-Scale		
13.13	<u>520a</u> 	in the X-ray Light Curves of TeV Blazars		
	1 1	片岡 淳(京大理)、P.G.Edwards(宇宙		
	! !	研)、S.J.Wagner(Heidelberg 天文台)、		
	l 1	井上 進(国立天文台)、G.M.Madejski		
Ì		(NASA / GSFC)、高原文郎(阪大理)、 高橋忠幸、谷畑千春(宇宙研)		
	:	尚循心学、行知于春(于田柳)		
13:30	S27a	「あすか」による超大光度赤外線銀河		
1	 	(ULIRG) の X 線観測		
	1	穴吹直久(東大理)、米徳大輔(東工大		
	i I	理工)、中川貴雄、藤本龍一(宇宙研)		
13:45	S28a	Starburst 輻射による Obscuring Wall 形		
	1	成; Implications for Starburst-AGN Type		
	! 	Connection		
	1	大須賀 健 (筑波大物理)、梅村雅之		
	1	(筑波大計算物理)		
14:00	S29a	大局磁場中の搬送主体型降着流における		
	1	スケーリング則		
	1	鏑木 修 (東北大理)		
	1			
	·			

T. 銀河団 (A 会場)

	T01a	銀河団の進化と銀河団内宇宙線による y 線 椿 信也(東大理)、北山 哲(都立大 理)、佐藤勝彦(東大理)	10/7(土		おとめ座銀河団の矮小銀河の測光学的性質 沢田保宏 (ニコン)、岡村定矩、土居 守、 〇嶋作一大 (東大理)、関口真木 (東大 宇宙線研)、柏川神成、八木雅で(国立
09:15	1 T02a 	多重散乱を考慮した相対論的 Sunyaev- Zel'dovich 効果 川名洋平、伊藤直紀(上智大理工)、 野澤 智(城西女子短大)、神山泰治		T13b	天文台)、小宮山 裕(ハワイ観測所)、 モザイク CCD グループ かみのけ座銀河団の矮小銀河 : 形状・
09:30	T03a	(富士総研) 銀河団のアセンブリーと大局的星形成史 児玉忠恭(東京大)、Richard Bower		! ! !	色・金属量の半径依存性 II 小宮山 裕(国立天文台)、岡村定矩 (東大天文)、八木雅文(国立天文台)、 B.Mobasher (Imperial College)、D.Carter
	! !	(Univ of Durham)		! !	(LJMU)、他 Mosaic CCD Group
09:45	T04a	銀河団とその Brightest cluster member の統計的研究 隈井泰樹(熊本学園大)、佐藤紳司、 田原 譲、秋元文江、古澤彰浩(名大理)、 渡辺 学(宇宙研)、太田泰史(熊大理)		1 T14b	かみのけ座銀河団の質量・光度比とフィールド銀河の光度密度に基づく密度パラメータの測定 勝野由夏(東北大理)、嶋作 一大(東大理)、田口 弘子(東京学芸大教)
10:00	T05a	銀河団におけるコモンハローの成長: Fokker-Planck モデル 高橋広治、泉水朋寛(東大理)	13:00	T15a	A3158 の銀河団ガスの温度分布 太田泰史(熊本大理)、隈井泰樹(熊本 学園大)、荒井賢三(熊本大理)、白鳥 裕(九州東海大)、渡辺 学(宇宙研)、
10:15	T06a	形成時期を考慮した X 線銀河団の温度・ 光度函数 榎 基宏 (阪大理)、藤田 裕 (国立天		1 1 1 1	古澤彰浩、秋元文江、佐藤紳司、田原 譲、山下広順(名大理)、三好 蕃(京 産大)、A. Mazure(CNRS,LAS France)
	1	文台)、高原文郎(阪大理)	13:15	T16a	A3558 の温度・重元素分布とマージング
10:30	Т07Ь	3次元パラメータ空間における銀河団の 進化とX線基準面 杉之原立史(東大理)、藤田 裕(国立			プロセス 近藤和雅、古澤彰浩、秋元文江、山下 広順、田原 譲(名大理)
	то 8 ь	天文台)、高原文郎(阪大理) 「あすか」による A1060 銀河団のマッピ	13:30	T17a	銀河団ダストのスペクトル進化 高木俊暢 (立教大理)、有本信雄 (東
	1	ング観測		! !	大理)、花見仁史(岩手大人文)
	 	古庄多恵、影井智宏、石崎欣尚、山崎 典子、大橋隆哉(都立大理)、柴田 亮 (宇宙研)、江澤 元(天文台野辺山)	13:45	T18a	遠方超銀河団 Cl 1604 + 43 領域における弱い重カレンズ現象に基づく質量集中検出 梅津敬一、二間瀬敏史 (東北大理)
:	T09b	最近傍の重カレンズ銀河団候補 A3408 の「あすか」による観測 片山晴善(阪大理)、林田 清、橋本谷 磨志	14:00	T19a	銀河群からの硬 X 線成分の検証 松下恭子(MPE)、大橋隆哉(都立大 理)、牧島一夫、中澤和洋、磯部直樹 (東大理)、深沢泰司(広島大理)
	T10b	Fossil Galaxy Group — RX J1340.6 + 4018 の ASCA による観測 久志野彰寛、山崎典子、大橋隆哉(都	14:15	T20a	コンパクト銀河群周縁部のオプティカ ル・エンベロープの研究 西浦慎悟、塩谷泰広、谷口義明(東北大理)
:		立大理)、柴田 亮 (宇宙研)、菊池健 一 (宇宙開発事業団)	 ポスタ~	! ! -のみ	
10:45	Т11Ь	EGRET 未同定 GeV ガンマ線源は形成 途中の「ガンマ線銀河団」か? 戸谷友則(国立天文台)、北山 哲(都	4.77		Tsallis 統計による銀河団の質量密度 羽生千亜紀、羽部朝男(北海道大理)
:	! ! !	立大理)		T22c	Color Cut 及び増感法を用いた新銀河団 検出法 後藤友嗣、関口真木(東大宇宙線研)

U. 宇宙論(B 会場)

)	
U01a	ミリ波電波カメラによる SZ 効果観測計
1	画 IX 坪井昌人、田邉弥一郎(茨城大)、春
I I	日隆(法政大)、松尾宏(国立天文
i	台)、坂本彰弘、久野成夫、宮崎敦史
i	(NRO)
i	(
U02a	Cosmic shear による宇宙モデルの決定
I I	佐藤潤一、高田昌広(東北大理)、Jing
i	Yipeng(東大理)、二間瀬敏史(東北大
1	理)
i	
U03a	ハローのバイアスを考慮した銀河団分布
İ	のジーナス統計
I I	日影千秋、樽家篤史、須藤 靖(東大理)
i .	
U04a	高赤方偏移天体における等密度統計につ
i	いて
1	樽家篤史(東京大理)、山本一博(広
1	島大理)
 	ASTRONOL CONTRACTOR
U05a	矮小銀河スケールにカットオフのある密
1	度揺らぎの生成
!	横山順一(阪大理)
U06a	CMB の銀河団による偏光とポテンシャ
i 	ル揺らぎの再構成
I .	瀬戸直樹、佐々木 節(阪大理)
I I	6 并以1.二字本代 今中北县镇铁水组
UU/a 	ビッグバン元素合成、宇宙背景輻射の観 測によるレプトン数の制限
i	
I I	折戸 学、梶野敏貴(国立天文台理論)
i	
7-07	
	・ 三重 QSO 系 Q1623 の KECK HIRES ス
OUOC	二里 Q30 π Q1623 θ REOK Fines α α forest α α
	析:空間分布と数密度
	が・空間が布と数番度 比田井昌英(東海大文明研)、W.L.W.
	Sargent, L. Lu, T.A. Barlow, M. Rauch (Caltech)
	(Calleon)
TIOO	赤方偏移推定誤差の重カレンズ像拡大率
JUYC	が力場を推定設定の量力レンス像拡入学 への影響
	杉之原真紀(国立天文台)、杉之原立
	少之原兵和(国立人义音)、 杉之原立 史(東大理)
	人 (本八生)
[110 ₀	Limits on Neutrino Mass from Cosmic
0100	Structure Formation
	福来正孝(東大宇宙線研)、〇劉国欽
	(京大理、国立天文台)、杉山直(国立
	天文台)
	//AD/
	U01a

V. 地上観測機器 (E会場)

			1015/-		
10/5(木			10/5(木		#40V-11TV-144D4 10.07
09:30	V01a	TAMA300 の現状(7)	11:15	V08a	30m 基線光赤外干渉計 MIRA - I.2 の建
1	i	藤本眞克(国立天文台)、他 TAMA グ		i	設(2)
	ı	ループ(京大基研、高エ研、国立天文		l .	吉澤正則、佐藤弘一、西川 淳、福島
l	1	台、電通大、東大宇宙線研、東大新領		1	登志夫、鳥居泰男、鈴木駿策、大石奈
l	1	域、東大地震研、東大理、阪大理、宮		i	緒子、松田 浩、久保浩一、岩下 光、
l	i			l	
l	I	城教育大)		1	David Saint-Jacques(国立天文台)、小
l] 			1	谷隆行 (東大理)、根本善一、加倉井
09:45	V02a	TAMA300 データ取得および解析の現状		i	明宏(法政大工)
ı	I	について		I	
l	I	辰巳大輔 (国立天文台)、神田展行	11:30	V09a	幾何学的位相によるナル干渉計
ı	i	(宮教大)、他 TAMA collaboration	11.00	1	村上尚史、馬場直志、石垣 剛(北大工)
l	t	(古秋人)、他 TAIMA COIIADOIAIIOII		i	们工间文、对观臣心、 石色 两 (40八工/
l	l	Endertal Advantage Committee		 T/4.01	・ルラーフ びー ゲヘルナ はて 注引 の 美茂中
10:00	V03a	すばる望遠鏡の総合性能と共同利用	11:45	V10b	光ファイバー結合光赤外干渉計の基礎実
ı	I	安藤裕康(国立天文台ハワイ)、ほか		i	験 Ⅲ
ı	l	ハワイ観測所すばるプロジェクトチーム		l .	佐藤弘一、西川 淳、吉澤正則、福島
l	1			l	登志夫、大石奈緒子、鳥居泰男、松田
10 : 15	1 1/0.4c	マウナケア予測気温とすばる主鏡の温度		! !	浩、久保浩一、岩下 光、鈴木駿策
10.13	1 4048			1	(国立天文台)、小谷隆行(東大理)、
l	!	制御		I	
ı	i	宮下暁彦(国立天文台)、Steven		i I	根本善一、加倉井明宏(法政大工)
ı	i	Businger、Richard Knabb(ハワイ大学)、		i	
l	1	井美克己(国立天文台)		V11b	すばる望遠鏡のためのレーザガイド星シ
l	1			1	ステムの開発
10 . 30	V050	南アフリカ天文台に設置する口径 1.4m		i	早野 裕、大屋 真 (通総研)、高見英
10.50	1 1054	経緯儀望遠鏡の製作		I	樹、高遠徳尚、鎌田有紀子、家 正則
l	l I			1	
l	1	栗田光樹夫、加藤大輔、長田哲也、河		 	(国立天文台)
ı	I	合利秀、平尾孝憲、佐藤修二(名大理)、		i	
l	! !	Ian Glass(南アフリカ天文台)、田中培		∪ V12b	Point-pattern matching software と星表
l	i	生 (東大理)、杉谷光司 (名市大)、西		l I	による望遠鏡指向精度の改善
l	I	村有二、関 敬之、桑田宗晴(西村製		1	柳澤顕史(国立天文台岡山)
ı	!	作所)	1	I	M178/2 (112/1/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/1
l	i	TF/71)		1 37121	CANCADOO7/10 包含色の知測起生
l .	1			V130	CANGAROO7/10m 望遠鏡の観測報告
10:45	V06a	西はりま天文台の 60cm 望遠鏡用の赤外		I	櫛田淳子(東工大理)、他 CANGAROO
l	i	線カメラの完成		1	チーム(茨城大理、茨城医療大、宇宙
	I	Jose Ishitsuka (U. of Tokyo), Toshihiro		l L	科学研、大阪市大理、神奈川大工、京
1	1	Omodaka (Kagoshima U.), Masaki		i	大理、甲南大理、国立天文台、東海大
l	i	Morimoto, Takehiko Kuroda (NHAO),		I	理、東工大理、東大宇宙線研、名大
l	I	Takeshi Miyaji (NAOJ), Munetaka	1	1	STE研、山形大理、山梨学院大、理研、
ı				i	アデレード大、オーストラリア国立大)
1	i	Ueno (U. of Tokyo), Takehiko Wada		1	/ / レードへ、4 一ヘドノリノ国业人/
1	!	(ISAS), Fumihiko Ieda (Osaka Educa		1	
	1	tional U.) and Noritaka Tokimasa	10/6(金	•	
1	Ī	(NHAO)	09:00	V14a	すばる望遠鏡観測装置「IRCS」の総合
I	I.		[1	性能評価
11:00	V07a	飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡での波		1	寺田 宏、小林尚人、Mark Weber、後
	1	面乱れ測定実験		I	藤美和、Bob Potter(国立天文台ハワイ
	l .	北井礼三郎、上野悟、吉村圭司、高津	1	I I	観測所)、Alan Tokunaga(ハワイ大学
	1			i	天文学研究所)、ハワイ大学 IRCS チー
1	i	裕通(京大理附属天文台)、末松芳法		1	
1	1	(国立天文台)、馬場直志、北 洋(北		1	ム、すばるチーム
I	1	大工)、三浦則明(北見工大)	l	i	
1	i		09:15	1 V15a	HDS(高分散分光器)の開発
1	1		1	1	川野元 聡、青木和光、安藤裕康、泉浦
1	i i			I I	秀行、岡田則夫、沖田喜一、野口邦男、
I	i			l	渡辺悦二(国立天文台)、田中 済(三
1	I			1	
	1		l	1	菱電機)、神戸栄治(防衛大)、本田敏
İ	i			i	志 (総研大)、佐藤文衛 (東大)
	1		L		

1 0/6(金 09:30	-	OH 夜光除去分光器 岩室史英、舞原俊憲(京大理)、本原 顕太郎(国立天文台ハワイ)、原島 隆、 秦 隆志(京大理)、すばる望遠鏡チーム	10/6(金		可視・近赤外撮像分光観測装置 TRISPEC の開発:分光、偏光機能 渡辺 誠 (名大理)、中屋秀彦 (国立天 文台ハワイ)、禅野孝広、石井未来、 岡田 誠、山崎敦之、山中友介、佐藤 修二、長田哲也、平尾孝憲、河合利
09:45	V17a	超伝導トンネル接合素子を用いた近赤外 ~可視~紫外~極端紫外域の一光子分光 検出器の開発 大谷知行、池田時浩、奥 隆之、加藤 博、川井和彦、佐藤広海、清水裕彦、 瀧澤慶之、宮坂浩正、渡辺 博(理 研)、仲川 博、赤穂博司、青柳昌宏 (電総研)	10:45	V24b	秀、中村洋子、佐藤利和(名大理)、 海老塚 昇(理研)、山室智康(ジェネ シア)、J.Hough(Hertfordshire 大学)、 姚永強(紫金山天文台) 京都三次元分光器 第2号機 VII. CCD カ メラシステムの性能評価 尾崎忍夫(京大理)、その他京都3D
10:00	V18a	近赤外3色同時撮像カメラ SIRIUS の開発および性能評価(検出器系) 永山貴宏、長嶋千恵、中島 康、禅野孝広、河合利秀、長田哲也、佐藤修二(名大理)、中屋秀彦(国立天文台ハワイ)、田村元秀(国立天文台)、杉谷光司(名市大)			チーム 京都三次元分光器第2号機 VII. 姿勢差の 評価 服部 堯、菅井 肇、尾崎忍夫(京大理)、他京都三次元分光器チーム 京都三次元分光器第2号機 VIII. 赤外シミュレータによる試験観測
10:15	V19a	京都三次元分光器第2号機 V. 赤外シミュレータによる総合性能評価 菅井 肇、大谷 浩、尾崎忍夫、服部 尭、河合篤史(京都大理)、他京都三 次元分光器チーム、武山芸英((株) ジェネシア)			河合篤史、菅井 肇、尾崎忍夫、服部 尭、大谷 浩 (京大理)、林 忠史 (富 山市科学文化センター)、他京都三次 元分光器チーム
10:30	V20b	県立ぐんま天文台 150cm 望遠鏡ナスミス分光器 橋本 修、Hakim L. Malasan、田口 光、清水 実(県立ぐんま天文台)、武山芸英、山室智康(ジェネシア)		 	ASTE 計画進捗状況 山本 智 (東大理)、川辺良平 (国立天 文台)、ほか ASTE チーム (国立天文台、 東大理、東大天文センター、名大理、 大阪府大、千葉大、豊田高専) 新 10m サブミリ波望遠鏡 アンテナの
	V21b	チャージシャッフリングを用いた CCD 電荷転送効率の測定 小織雅和、石垣 剛、馬場直志(北大 工)、尾崎忍夫、服部 尭、大谷 浩 (京大理)	14.13	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	初期性能 江澤 元、浮田信治、河野孝太郎、佐藤直久、高橋敏一、中西康一郎、山口伸行(国立天文台野辺山)、岡 朋治、岩田充弘(東大理)、米倉覚則(大阪府立大)
	V22b	近赤外3色同時撮像カメラ SIRIUS の開発および性能評価(光学系) 長嶋千恵、永山貴宏、中島 康、河合 利秀、長田哲也、佐藤修二(名大理)、 杉谷光司(名古屋市立大)、田村元秀 (国立天文台)	14:30	V29a	新 10m サブミリ波望遠鏡による試験観測 祖徠和夫、浮田信治、江澤 元、河野 孝太郎、砂田和良、関本裕太郎、中西 康一郎、岩下浩幸、高橋敏一(国立天 文台野辺山)、長谷川哲夫、澤田剛士 (東大大学院天文学教育研究センター)、 酒井 剛 (東大大学院物理)

1 0/6(金 14:45		ASTE サブミリ波望遠鏡用 On-The-Fly マッピングシステムの開発 山口伸行(国立天文台野辺山)、大西 利和、早川貴敬(名大理)、徂徠和夫、 浮田信治、立松健一、江澤 元、砂田 和良(国立天文台野辺山)	1 0/7 (土 09:00		RADX- 4 FFT による空間時間 FFT プロセッサーの構成と 4 進パラメータ 大師堂経明、遊馬邦之、田中尚樹、竹内央、国吉雅也、後藤健太郎、鈴木智也、水木さおり、水野桂寿、福岡浩二、梅村朋弘(早稲田大学)
15:00	V31a	フォトニクス技術による超広帯域サブミリ波へテロダイン観測法の開発 石黒正人、野口 卓、高野秀路、上田 暁俊、関本裕太郎、松尾 宏(国立天 文台)松浦周二(宇宙研)、石橋忠夫 (NTT フォトニクス研究所)、盛岡敏 夫、川西悟基(NTT 未来ねっと研究所)		 	那須電波干渉計ディジタル系のシミュレーションによる評価 竹内 央、田中尚樹、大師堂経明(早大教育)、國吉雅也、後藤健太郎、水野桂寿、鈴木智也、水木さおり、福岡浩二、梅村朋弘、鵜沢 憲、松村寛夫(早大理工)、遊馬邦之(早大理工総セ)
15:15	V32a	光技術を応用したサブミリ波位相・周波 数制御技術の開発 上田暁俊、関本裕太郎、石黒正人(国 立天文台)		1 1 1 1 1	位相補償用 22 GHz 水蒸気ラジオメータの開発 朝木義晴(宇宙研)、小林秀行、石黒 正人(国立天文台)
15:30	V33a	大型ミリ波サブミリ波干渉計のための分 光相関器システムの開発 II. 超高速 A / D 変換の実験 奥村幸子(国立天文台野辺山)、百瀬 宗武(茨城大)、松本欣也(九州東海 大)、川口則幸、井口 聖、近田義広 (国立天文台)		 	ギガビットディジタルフィルタ試作機試験結果 井口 聖(電通大)、川口則幸(国立天文台)、川上和幸(沖電気/エレックス工業) 日田 64m アンテナにおけるミリ秒パルサー観測計画
15:45	V34b	Martin & Puplett 型 Forier 分光器の開口 合成への応用 〜実験室実証実験経過報 告〜 大田 泉、服部 誠(東北大天文)、松 尾 宏(国立天文台)、柴田行男(東北 大科学計測研究所)、浜地芳宏、荒井 正範、奥田武志、須田浩志(東北大天 文)	10:15	V43a	花土ゆう子、細川瑞彦、関戸 衛、渋 谷靖久、今江理人(通信総研)、平林 久(宇宙研)、藤沢健太、小林秀行 (国立天文台) VLBI標準インターフェース(VSI-H) 小山泰弘、近藤哲朗、中島潤一、関戸 衛(通信総研鹿島)、木内 等(通信総 研)、川口則幸(国立天文台)
	V35b	ASTE 1 0 m アンテナ用第 2 焦点受信機の設計 横川創造、関本裕太郎、小川英夫、安藤浩哉、河野孝太郎、川辺良平、他 ASTE グループ	10:30	V44a	受信部を一体化した2、8 GHz 観測用 の小型共軸給電部の試作(1) 春日 隆、三牧宏彬、中野久松(法政 大学工)
	V36b	ASTE 搭載サブミリ波カメラの開発 II 有吉誠一郎(東北大理)、松尾 宏(国立天文台)、武田正典、野口 卓(国立 天文台野辺山)	10:45	V45a	LEO 衛星を利用した電波望遠鏡のビームパターン計測 西尾正則、蒲原龍一、面高俊宏(鹿児 島大理)、久保大史、宮崎智行(鹿児 島大工)
	V37b	UTC フォトダイオードによるフォトニック LO 実験 高野秀路、関本裕太郎、石黒正人(国立天文台)	11:00	V46a	GPS 時刻同期型 NTP サーバーの時刻精度について 佐藤克久、堀合幸次、浅利一善、酒井 俐、石川利昭、金子芳久(国立天文台 水沢)

10/7(土)

11:15 + V47b (2+1)次元空間時間 FFT プロセッサーの 係数決定とアナログテスト

> 遊馬邦之(埼玉桶川西高)、田中尚樹、 竹内 央、国吉雅也、後藤健太郎、水 野柱寿、鈴木智也、水木さおり、福岡 浩二、梅村朋弘、大師堂経明(早大)、 小林厚史 (アルゴハイテック)

V48b VERA における2ビーム位相較正法の検 討

> 本間希樹(国立天文台)、VERA推進 グループ

V49b VERAにおける像合成誤差解析シミュ レーション

今井 裕(国立天文台 VERA 推進室)

V50b リアルタイム VLBI による電波源強度変 化のモニター

> 小山泰弘、近藤哲朗 (通信総研鹿島)、 栗原則幸 (通信総研)

ポスターのみ

V51c CANGAROO-III 計画の現状

森 正樹 (東大宇宙線研)、他 CANGAROO チーム(茨城大理、茨城医療大、宇宙 科学研、大阪市大理、神奈川大工、京 大理、甲南大理、国立天文台、東海大 理、東工大理、東大宇宙線研、名大 STE研、山形大理、山梨学院大、理 研、アデレード大、オーストラリア国 立大学)

V52c ASTE 新 10m サブミリ波アンテナの温 度特性

> 佐藤直久、浮田信治(NRO)、 H.Riewaldt (Lund Observatory, Sweden)

V53c ギガビット VLBI 観測の現状と初期性能 評価

> 中島潤一、小山泰弘、関戸 衛、近藤 哲朗 (通信総研鹿島)、木村守孝 (東 大)

V54c 天体構造が VERA の位置決定精度に与 える影響Ⅱ

> 澤田-佐藤 聡子(国立天文台 VERA 推 進室)、VERA グループ

V55c VERA ディジタル処理バックエンドシス テムの開発と性能評価について

> 佐藤克久、川口則幸、井口 聖、宮地 竹史、久慈清助 (国立天文台)、木内 等 (通総研)、小関研介、森野貴行 (沖電気)、沼田一弘 (沼田ソフトウェ ア事務所)

W. 飛翔体観測機器 (B会場)

10/7(土)

09:00 | W01a ASTRO - F (IRIS) 搭載 SiC 望遠鏡の開発 (II)

金田英宏(宇宙研)、尾中 敬(東大理)、 村上 浩(宇宙研)、三浦紳治、山城亮 治、杉山喜和(NIKON)、川田光伸 (名大理)、他 ASTRO-F チーム

09:15 ¦ W02a ASTRO - F冷却系の開発

中川貴雄(宇宙研)、ASTRO-F チーム

09:30 W 03b 赤外線天文衛星 ASTRO - F の現状 村上 浩 (宇宙研)、ASTRO-F チーム

> W04b ASTRO-F / IRC 電気系の設計 和田武彦、片ざ宏一、村上浩(宇宙研)、上野宗孝(東大総合文化)他 ASTRO-F / IRC チーム

W05b ASTRO-F (IRIS) 搭載用極低温電子回路 の評価

日比康詞、芝井 広、川田光伸、平尾孝憲、渡部豊喜、永田洋久、廣岡伸弥、佐藤彰子(名大理)野田 学(名古屋市科学館)、中川貴雄、松浦周二、関 弘和、磯崎洋祐(宇宙研)、土井靖生(東大総文)、藤原幹生(通信総研)、他 ASTRO-F/FIS チーム

W06b ASTRO - F搭載赤外カメラ IRC の開発 の現状

> 松原英雄(宇宙研)、他 ASTRO-F/IRC チーム

09:45 | W07b ASTRO - F (IRIS) 搭載中間赤外カメラ (MIR - L) 光学系の性能評価

前田一平 (都技大)、松原英雄 (宇宙研)、尾中 敬、金 宇征、根岸武利 (東大天文)、他 ASTRO-F/IRC チーム

W08b ASTRO - F 搭載中間赤外カメラ (IRC - MIR - S) 光学系の性能評価

金 宇征、松原英雄(宇宙研)、前田一平(都技大)、尾中 敬、根岸武利(東 大天文)、他 ASTRO-F/IRC チーム

W09b ASTRO - F (IRIS) 搭載遠赤外線サーベイ 観測装置 FIS の開発

> 川田光伸(名大理)、他 ASTRO-F/FIS チーム

W10b ASTRO-F (IRIS) 搭載用遠赤外線フーリ エ分光器の開発 V

> 宇津野博士、川田光伸、芝井 広(名 大理)、高橋英則(科学技術振興事業 団/名大理)、他 ASTRO-F/FIS チーム

10/7(土)

10:00 W11b ASTRO - F (IRIS) 搭載遠赤外線圧縮型 Ge:Ga2 次元アレイ検出器開発 II

廣岡伸弥、芝井 広、佐藤彰子、川田 光伸、渡部豊喜、平尾孝憲、永田洋久、 日比康詞(名大理)、土井靖生(東大 総文)、中川貴雄(宇宙研)、巻内慎一郎(東大理)、廣本宣久、藤原幹生 (通信総研)、他 ASTRO-F/FIS チーム

W12b GaAs JFET をもちいた遠赤外線検出器 読み出し回路の性能評価

> 奥村健市、廣本宣久(通信総合研究 所)

W13b IRTS 搭載中間赤外分光器 MIRS の絶対 較正・

> 石原大助、尾中 敬、Kin-Wing Chan、 田辺俊彦(東大理)、山村一誠(宇宙研)

W14b FIRBE (Far-Infrared Balloon - Borne Experiment) の特徴と観測計画

手島隆文、芝井 広、川田光伸、有村成功、田中 誠、廣岡伸弥(名大理)、 土井靖生(東大総文)、成田正直、中 川貴雄、金田英宏(宇宙研)、奥田治 之(ぐんま天文台)、巻内慎一郎 (東大理)、広本宣久(通信総研)、 T.N.Rengarajan、R.P.Verma、S.K.Ghosh (TIFR)

10:15 W15b Solar - B 可視光望遠鏡 (SOT) の開発進捗 状況

> 一本 潔、末松芳法、清水敏文、花岡 庸一郎、大坪政司、永田伸一、田村友 範、常田佐久(国立天文台)、松崎惠 一、小杉健郎(宇宙研)、秋岡眞樹 (通総研)、三神 泉、斉藤秀朗、井上 登志夫、島田貞憲(三菱電機)、海道 宣昭(三菱スペースソフトウェア)、 武山芸英、山室智康(ジェネシア)、 SOT 開発グループ

W16b Solar - B 可視光磁場望遠鏡 (SOT) 搭載用 ピエゾ素子評価試験

> 永田伸一(宇宙研)、清水敏文、一本 潔、末松芳法、常田佐久(国立天文台)、 伊藤 修、柏木康弘、三木史朗、吉田 憲正、田畑真毅、小出来一秀、遠藤 真(三菱電機)、他可視光望遠鏡開発 グループ

10/7(土		Solar - B 可視光望遠鏡コリメータレンズ	1 0/7 (土 13:30	-	気球搭載用硬×線望遠鏡の生産の現状と
	1 1 1 1 1 1 1 1	部の開発進捗状況 末松芳法、一本 潔、常田佐久(国立 天文台)、武山芸英、榊原佳子、山室 智康(ジェネシア)、鈴木正治、岩井 忠之(キヤノン)、松下 匡、斉藤秀 朗、大島丈治(三菱電機)、SOT 開発 グループ		1 1 1 1 1 1 1 1	その性能評価 野本憲太郎、山下広順、田原 譲、小 賀坂康志、田村啓輔、芳賀一壽、岡島 崇、市丸 智、高橋誠司、鬼頭秀朗、 後藤有史、福田真一、加藤正磨、佐竹 宏之(名大理)、国枝秀世(宇宙研)、 他名大 X 線天文グループ
	W18b	電波天文衛星用フィルムレンズアンテナ 氏原秀樹(総研大)、近田義広(国立 天文台)	13:45	W27a 	多層膜スーパーミラーレプリカ鏡の開発 福田真一、小賀坂康志、岡島 崇、高 橋誠司、加藤正磨、佐竹宏之、田原 譲、山下広順、田村啓輔、芳賀一寿、
10:30	W19b	CdTe を使った太陽フレアの硬 X 線高精度スペクトル観測 小林 研(東大理)、常田佐久、田村友		 	市丸 智、鬼頭秀郎、後藤有史、野本 憲太郎(名大理)
	 	範 (国立天文台)、勝川行雄、久保雅 仁 (東大理)、斎藤芳隆、太田茂雄、 山上隆正 (宇宙科学研)、森 国城 (ク リアパルス)		W28a	テルル化カドミウム半導体を用いた新しい硬X線、ガンマ線撮像素子の開発(1) 渡辺 伸、佐藤悟朗、古宇田学、高橋 忠幸(宇宙科学研)
	W20b	気球環境における CdTe 硬 X 線検出器の パフォーマンス 斎藤芳隆、山上隆正(宇宙科学研究 所)、森 国城(クリアパルス(株))	14:15	W29a	XIS 読み出し回路を用いた国産 CCD の性能評価 馬場 彩、辻本匡弘、今西健介、河野誠、村上弘志、濱口健二、鶴 剛、小山勝二(京大物理)
	, 	薄膜結晶による X 線分光 小池哲司、緒方英樹、北本俊二、竹田 精治(阪大理)	14:30	 W30a 	フィッティング法を用いたX線イベント 解析による CCD 内部構造の解明 河野 誠、辻本匡弘、村上弘志、今西
	W22b	情円フィッティング法によるX線イベントの解析 辻本匡弘、今西健介、馬場 彩、河野 誠、鶴 剛、小山勝二(京大理)	14 . 45	 	健介、馬場 彩、鶴 剛、小山勝二 (京大理) TES型X線マイクロカロリメータと
10:45	, , , , W23b	減、傷 剛、小山勝二(京入理) 「あすか」衛星 GIS 検出器の軌道上バッ	14 . 45	. W31a !	SQUID アンプ読みだし系の開発 山崎正裕、満田和久、藤本龍一、伊予
	 	クグラウンドの推移 石崎欣尚、影井智宏、大橋隆哉(都立 大理)、菊池健一(宇宙開発事業団)		1 1 1 1 1 1	本直子、宮崎利行、大島 泰、二元和 朗(宇宙研)、庄子習一、工藤寛之、 横山雄一(早大理工)、大橋隆哉、山 崎典子、石崎欣尚、伊藤千枝、藤本 弦、影井智宏(都立大)
13:00	W24a	Solar -B XRT カメラ開発: 裏面照射型 CCD 内での電荷分散の測定 鹿野良平、熊谷收可、田村友範、原 弘久、常田佐久(国立天文台)、坂尾 太郎(宇宙研)、勝川行雄(東大理)、 常深 博(阪大理)		 	went April 104 year (mr min / W)
13:15	W25a	国際宇宙ステーション搭載全天 X 線監視 装置 (MAXI) 搭載用 大面積位置敏感型ガ ス比例計数管の開発 杉崎 睦、白崎裕治、松岡 勝(NASDA)、 三原建弘、桜井郁也、河合誠之、吉田 篤正(理研)		1 1 1 1 1 1 1 1	

X. 情報処理(B会場)

10/5(木) 09:30 X01a	自己重力多体系専用計算機 GRAPE - 6 の開発状況 牧野淳一郎(東大理)、古賀勝基、福 重俊幸(東大総文)、泰地真弘人(統 数研)		b 宇宙赤外線望遠鏡 IRTS による観測の データベース化とデータアーカイブ 高橋英則(科学技術振興事業団/名大 理)、芝井 広(名大理)、他 IRTS チーム
10:00 X03a	位相拘束型リチャードソン・ルーシー法によるスペックル像再生 細川貴史、馬場直志(北大工) VPP700によるマウナケア山頂数値気象 予報 Richard Knabb、Steven Businger(ハワイ大学)、〇小笠原隆亮、関口和寛 (国立天文台) 新 VSOP 観測データアーカイブの作成 村田泰宏、平林 久、P.Edwards(宇宙研)、ほか VSOP 運用グループ(宇宙研、国立天文台、NRAO、DRAO)		b 宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発(1): プロジェクト概要 松元亮治(千葉大理)、嶺重 慎(京大理)、富阪幸治(国立天文台)、松本 紘(京大宙空研)、荻野竜樹(名大 STE 研)、藤本正樹(東工大)、他ネットラボラトリーチーム 天体回転プラズマシミュレータの開発(4):熱伝導モジュールの並列化中村賢仁(科学技術振興事業団)、松元亮治(千葉大理)、宮路茂樹(千葉大自然)

Y. 天文教育・その他 (B会場)

10/5(木)	***	10/5(木)	
10 ; 30	-	作成の試み~視聴前の子どもの認識状態		05b 「液体レンズ」望遠鏡 大西浩次(長野高専)
	 	に基づいて〜 高橋真理子(山梨県立科学館)、松森 靖夫(山梨大)	Y	D6b PASJに投稿すべきか? XIII 1994年 に発表された日本の天文学・天体物理 学論文の被引用頻度
10:45	Y02a	研究機関が行う体験学習の教育的効果の 検証		寿岳 潤(文明研究所)
	, 	縣 秀彦(国立天文台)	11:15 Y	07b パワーズオブテン windows 版の作成 沢 武文(愛知教育大)
11:00	Y03b	グリズム分光器による広角星野分光写真 大西浩次(長野高専)、粟野論美(岡		
	1 	山天文博物館)、阿部新助(総研大)、 海老塚 昇(理研)、渡部潤一(国立天 文台)	Y (08c パワーズオブテン名古屋版の制作と活用 毛利勝廣、鈴木雅夫、野田学(名古 屋市学館)、山本晃裕(名大人間情
11:00	Y04b	『宇宙スペクトル博物館:電波編 一宇宙が奏でるハーモニーー』 尾林彩乃(西はりま天文台)、栗野諭美(岡山天文博物館)、田島由起子		報学研究科、富士通)、北原政子(名 古屋市科学館)、安田孝美(名大情報 文化学部)、澤武文(愛知教育大)、山 田 卓(DOMIC)
	 	(サイエンスデザイナー)、半田利弘 (東大天文センター)、福江 純(大阪 教育大)	Y	19c 宇宙・天文現象のための 3DCG 制作事 例集の作成 松本欣也(九州東海大応用情報)
	1 1 1 1 1 1	(サイエンスデザイナー)、半田利弘 (東大天文センター)、福江 純 (大阪	Y	例集の作成

講演者索引 (50音順)

[A] - [Z]

[A] — [Z]
Cameron, RobertM37a
Chan, Kin-Wing 022a
Dermawan, BudiL04a
Huang, Guangli
Ishitsuka, JoseV06a
Ivanov, Alexei R22a
Kim, WooJungW08b
Liu, Guo-ChinU10c
Mahasena, Putra N44a
Shen, Zhi-Qiang R38c
Wang, Tongjiang
Yuan, Weimin S12b
【あ】
相川祐理 (あいかわ ゆり)P33a
青木和光 (あおき わこう) N08b
青山紘子 (あおやま ひろこ)
赤坂達生 (あかさか みちお)R14b
縣 秀彦 (あがた ひでひこ)
秋山幸子 (あきやま さちこ)
浅井 歩(あさい あゆみ)
朝木義晴 (あさき よしはる)
浅田圭一 (あさだ けいいち)S17a
浅野勝晃 (あさの かつあき)A07a
浅山信一郎 (あさやま しんいちろう)P03a
遊馬邦之 (あすま くにゆき)V47b
穴吹直久 (あなぶき なおひさ)S27a
荒木田英禎 (あらきだ ひでよし)K02b
有吉誠一郎 (ありよし せいいちろう) V36b
栗木久光 (あわき ひさみつ)
安藤裕康 (あんどう ひろやす)V03a
阿武靖彦 (あんの やすひこ)
[61]
飯田 彰 (いいだ あきら)
井口 聖 (いぐち さとる)
池田美穂 (いけだ みほ)
石井貴子 (いしい たかこ)
石井未来 (いしい みき)
石黒正人 (いしぐろ まさと)

石田俊人 (いしだ としひと)	N09b
石原大助 (いしはら だいすけ)	W13b
石原裕子 (いしはら ゆうこ)	S09b
石丸友里 (いしまる ゆうり)	B02a
泉 潔(いずみ きよし)	L16b
泉浦秀行(いずみうら ひでゆき)	N 04a
磯部直樹(いそべ なおき)	\$14a
磯部洋明 (いそべ ひろあき)	M17a
板 由房(いた よしふさ)	N46c
板垣和幸 (いたがき かずゆき)	L06a
一本 潔 (いちもと きよし)	₩15b
出田 誠(いでた まこと)	R24b
伊藤洋一 (いとう よういち)	P37c
犬塚修一郎 (いぬつか しゅういちろう)	P30a
井上昭雄 (いのうえ あきお)	R19a
伊吹山秋彦 (いぶきやま あきひこ)	R03a
今井 裕 (いまい ひろし)	V49b
今西健介 (いまにし けんすけ)	P23a
今西昌俊 (いまにし まさとし)	R29a
伊予本直子 (いよもと なおこ)	S04a
岩室史英 (いわむろ ふみひで)	V16a
岩本静男 (いわもと しずお)	S24b
岩本信之 (いわもと のぶゆき)	N 07a
【う】	
上田暁俊 (うえだ あきとし)	V32a
上野 悟(うえの さとる)	M 10b
植野 優(うえの まさる)	N26a
上野宗孝 (うえの むねたか)	P14b
上原英也 (うえはら ひでや)	008b
植村 誠 (うえむら まこと)	A22b
氏原秀樹 (うじはら ひでき)	W 18b
臼井文彦 (うすい ふみひこ)	N23a
宇津野博士 (うつの ひろし)	W 10b
梅川通久 (うめかわ みちひさ)	P18b
梅津敬一 (うめつ けいいち)	T18a
梅本智文 (うめもと ともふみ)	P27b
浦田裕次(うらた ゆうじ)	A10a

大内正己 (おおうち まさみ) B13b
大越克也 (おおこし かつや) R27b
大島 泰 (おおしま たい)
大須賀 健 (おおすが けん) \$28a
大田 泉 (おおた いずみ)
太田泰史 (おおた やすし)T15a
大谷知行 (おおたに ちこう)V17a
大谷 浩 (おおたに ひろし)
大坪貴文 (おおつほ たかふみ)L07a
大西浩次 (おおにし こうじ) R01a, Y03b, Y05b
大西利和 (おおにし としかず)
大向一行 (おおむかい かずゆき)
岡 朋治 (おか ともはる)
小笠原隆亮 (おがさわら りゅうすけ) X03a
岡田 祐 (おかだ ゆう)
岡本 崇 (おかもと たかし)
岡本美子 (おかもと よしこ)P07b
奥田治之 (おくだ はるゆき)
奥村健市 (おくむら けんいち)W12b
奥村幸子 (おくむら さちこ)
奥村真一郎 (おくむら しんいちろう)
小倉勝男 (おぐら かつお) P24a
尾崎忍夫 (おざき しのぶ)
音川真徳 (おとがわ まさのり)
尾林彩乃 (おばやし あやの)
小山友明 (おやま ともあき)R10b
折戸 学

【か】

春日 隆(かすが たかし)V44a
片岡 淳 (かたおか じゅん)S26a
片山晴善 (かたやま はるよし)
勝川行雄 (かつかわ ゆきお)
勝野由夏 (かつの ゆか)
加藤太一 (かとう たいち) A15a
加藤成晃 (かとう よしあき)

金田英宏 (かねだ ひでひろ) W01a
鹿野良平 (かの りょうへい) ₩24a
鏑木 修 (かぶらき おさむ)
釜谷秀幸 (かまや ひでゆき)
亀野誠二 (かめの せいじ)
鴈野重之 (かりの しげゆき)
軽部智一 (かるべ ともかず)
河合篤史 (かわい あつし)
河合誠之 (かわい のぶゆき) A11b
川口俊宏 (かわぐち としひろ) \$22b
川田光伸 (かわだ みつのぶ)
川名洋平 (かわな ようへい) T02a
川野元 聡 (かわのもと さとし)
川端 潔 (かわばた きょし) L10b
河村晶子 (かわむら あきこ)
川良公明 (かわら きみあき) R31a

【き】

菊地信弘 (きくち のぶひろ)
岸 幸正 (きし ゆきまさ)
北井礼三郎 (きたい れいざぶろう) V07a
北本俊二 (きたもと しゅんじ) A05b
北山 哲 (きたやま てつ)
衣笠健三 (きぬがさ けんぞう) A12b
木下 宙 (きのした ひろし)
木村誠二 (きむら せいじ)

[<]

櫛田淳子	(くし	だ	じゅんこ)	V13b
久志野彰寛	(< L	,0	あきひろ)	T10b
工藤哲洋	(くと	? う	たかひろ))	N42a
久保雅仁	(< 13	ž	さひと)		M 28b
隈井泰樹	(くま	į Vi	やすき)		T04a
栗田光樹夫	(< b	た	みきお)		V 05a
黒河宏企	(くろ	かわ	ひろき)		M 21a
黒田明子	(< 2	らだ	あきこ)	***************************************	N 21b

[[]

小池 修 (こいけ	おさむ) N28 b
小池千代枝 (こいけ	ちよえ) 023a
小池哲司 (こいけ	てつじ)₩21b
小出直久 (こいで	たおひさ) P09a

	F 1 3
高津裕通 (こうづ ひろみち)	
可野孝太郎 (こうの こうたろう) R13b	塩谷泰広 (しおや やすひろ)
可野 誠(こうの まこと)	柴崎清登 (しばさき きよと)
小久保英一郎 (こくほ えいいちろう)L02a	柴田一成 (しばた かずなり)
小嶌康史 (こじま やすふみ) N45c	芝塚要公 (しばつか としひと)
尼玉忠恭 (こだま ただゆき)	嶋作一大 (しまさく かずひろ)
後藤友嗣 (ごとう ともつぐ) T22c	下条主美 (しもじょう ますみ) M25a
後藤美和 (ごとう みわ)P08a	寿岳 潤 (じゅがく じゅん)
小林 研 (こばやし けん)W19b	白井俊道 (しらい としみち) K01k
小林千晶 (こばやし ちあき) B01a	白水麻里意 (しろうず まりい)
小林尚人 (こばやし なおと) B09a	口为4种主席 (007)
小林 浩 (こばやし ひろし)L21c	【す】
小宮山 裕 (こみやま ゆたか) T13b	
小山亜希子(こやま あきこ) N35b	末松芳法 (すえまつ よしのり)W17t
小山 洋 (こやま ひろし)	菅井 肇 (すがい はじめ)
ト山泰弘 (こやま やすひろ)V43a, V50b	杉崎 睦(すぎざき むつみ)₩25a
丘藤和雅 (こんどう かずまさ)	杉之原立史 (すぎのはら たつし) TO7k
を野幸吉 (こんの こうきち)	杉之原真紀 (すぎのはら まき)
7_ -	杉保昌彦 (すぎほ まさひこ)
(さ)	須田拓馬 (すだ たくま)
西合一矢 (さいごう かずや)	住 貴宏 (すみ たかひろ)
	住吉光介 (すみよし こうすけ)
青藤尚生 (さいとう たかお)	F 1 L 3
青藤智樹 (さいとう ともき)	(せ)
新藤弘雄 (さいとう ひろお)	関ロ目中 (ひゃかゃ キャト) - MO26
	関口昌由 (せきぐち まさよし)
ト織雅和 (さおり まさかず)	芹澤寛隆 (せりざわ ひろたか)L17k
	千田篤史 (せんだ あつし)
反本貴紀 (さかもと たかのり)	【そ】
左藤克久 (さとう かつひさ)	
生藤弘一 (さとう こういち)	相馬 充 (そうま みつる)
左藤潤一 (さとう じゅんいち)	徂徠和夫 (そらい かずお)
生藤毅彦 (さとう たけひこ)	
左藤直久 (さとう なおひさ)	(た)
生藤文男 (さとう ふみお)	6 Hz 1db
左藤康則 (さとう やすのり)	台坂 博 (だいさか ひろし)
尺 武文 (さわ たけやす)	大師堂経明 (だいしどう つねあき)
署田 # ボボッス (いっぱっこ)	高木俊暢 (たかぎ としのぶ) T17a
睪田 - 佐藤 聡子(さわだ - さとうさとこ) V54c	高桑繁久 (たかくわ しげひさ)
	高野秀路 (たかの しゅうろ)
	高橋広治 (たかはし こうじ) T05a
	高橋英則 (たかはし ひでのり)
	高橋弘充 (たかはし ひろみつ)

高橋真理子 (たかはし まりこ)Y01a	【な】	
高橋労太 (たかはし ろうた)	中尾泰士 (なかお やすし)	N36b
田川英幸 (たがわ ひでゆき)	長尾 透(ながお とおる)	
竹内彰継 (たけうち あきつぐ)	中川貴雄 (なかがわ たかお)	
竹内 拓 (たけうち たく)P36a	中里 剛 (なかざと たけし)	
竹内 努 (たけうち つとむ)	中島淳一 (なかしま じゅんいち)	
竹内 央 (たけうち ひろし)	中島潤一 (なかじま じゅんいち)	
武田隆顕 (たけだ たかあき)L096	中島 弘 (なかじま ひろし)	
田尻愉香 (たじり ゆか)R18a, R25b	中島 康 (なかじま やすし)	
田代 信 (たしろ まこと) \$15a	長嶋千恵 (ながしま ちえ)	
田代基慶 (たしろ もとみち)	長島雅裕 (ながしま まさひろ)	
辰巳大輔 (たつみ だいすけ)V02a	永田伸一 (ながた しんいち)	
田辺玲奈 (たなべ れな)L15b	長滝重博 (ながたき しげひろ)	
谷川清隆 (たにかわ きよたか) K04a	中西裕之 (なかにし ひろゆき)	R37c
谷川智康 (たにがわ ともやす)L20c	中野武宣 (なかの たけのり)	P29a
谷口義明 (たにぐち よしあき)	仲野 誠(なかの まこと)	P26b
樽家篤史 (たるや あつし)	中村賢仁 (なかむら けんじ)	X07b
1+1	中村敬喜 (なかむら たかよし)	N14a
(ち)	中村 士 (なかむら つこう)	L05a
千葉柾司 (ちば まさし)R02a	中村文隆 (なかむら ふみたか)	B04a
茅原弘毅 (5は5 ひろき)	中村泰久 (なかむら やすひさ)	N48c
A かな (5は5 0つと)	中屋秀彦 (なかや ひでひこ)	P05b
101	2. (Li th. chr	V4.0-
	永山貴宏 (ながやま たかひろ)	VIBA
	水山頁広 (ながやま たかひろ) 並木雅章 (なみき まさあき)	
辻 隆 (つじ たかし)		N43a
	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a
辻 隆 (つじ たかし) NO2a	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a
辻 隆(つじ たかし)	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b
辻 隆 (つじ たかし)	並木雅章 (なみき まさあき)	N43 a N20 b B 06a
注 隆(つじ たかし)	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a
 注 隆(つじ たかし)	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a
注 隆(つじもと まさひろ)	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a M03a
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a M03a N32b
 注 隆	 並木雅章 (なみき まざあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a M03a N32b S19a A18a M07b
 注 隆	並木雅章 (なみき まさあき)	N43a N20b B06a T20a V45a M03a M03a N32b S19a A18a M07b N10b
 注 隆	 並木雅章 (なみき まざあき)	N43a N20b B06a T20a V45a W03a W03a M03a M07b N10b 006b

【は】

		藤本眞克 (ふじもと まさかつ)	V01a
羽賀良太郎 (はが りょうたろう)	M 26a	古庄多恵 (ふるしょう たえ)	
萩野正興 (はぎの まさおき)	M 04a	古屋 泉 (ふるや いずみ)	
橋本 修(はしもと おさむ)	V20b	口圧 水(あるヤ いりの /	LVIa
長谷川哲夫 (はせがわ てつお)	004a	【ほ】	
秦 正樹(はた まさき)	M 35a		
蜂巣 泉(はちす いずみ)	N1 3a	細川貴史(ほそかわ たかし)	X 02a
蜂須賀一也 (はちすか かずや)	R04a	堀 久仁子(ほり くにこ)	M 34a
服部 堯 (はっとり たかし)	V25b	堀内真司 (ほりうち しんじ)	S32c
花岡庸一郎 (はなおか よういちろう)	M 38a	本間希樹(ほんま まれき)	V48b
花土ゆう子 (はなど ゆうこ)	V42a		
花輪知幸 (はなわ ともゆき)	P17a	【ま】	
羽生千亜紀 (はにゅう ちあき)	T21c		
幅 良統(はば よしと)	S18a	真栄城朝弘 (まえしろ ともひろ)	
濱口健二 (はまぐち けんじ)		前田一平(まえだ いっぺい)	
林 悟(はやし さとる)		前田啓一 (まえだ けいいち)	
早野 裕(はやの ゆたか)		牧島一夫 (まきしま かずお)	
原島 隆(はらしま たかし)		牧野淳一郎 (まきの じゅんいちろう)	X 01a
原田知広 (はらだ ともひろ)		町田正博 (まちだ まさひろ)	B 05a
馬場 彩 (ばんば あや)		町田真美 (まちだ まみ)	N41a
My 790 17	11234	松崎恵一 (まつざき けいいち)	P02a
[7]		松下恭子 (まつした きょうこ)	T19a
		松永健一 (まつなが けんいち)	005a
日影千秋 (ひかげ ちあき)	U03a	松葉龍一 (まつば りゅういち)	N34b
比田井昌英 (ひだい まさひで)N06a,	U08c	松原英雄 (まつはら ひでお)R32a,	W 06b
日高 真(ひだか まこと)	R39c	松本 桂(まつもと かつら)	A17a
日比康詞(ひび やすのり)	W 05b	松本欣也 (まつもと きんや)	Y09c
平井正則 (ひらい まさのり)	N03a	松本千穂(まつもと ちほ)	S10b
牧井康雄(ひらい やすお)	\$21b	松本倫明 (まつもと ともあき)	P15a
平下博之 (ひらした ひろゆき)	R17a	松元亮治 (まつもと りょうじ)	X 06b
平野尚美(ひらの なおみ)	P34a	萬本忠宏 (まんもと ただひろ)	S30c
平山 淳 (ひらやま ただし)	M33a		
廣岡伸弥 (ひろおか しんや)	W11b	【み】	
広田朋也(ひろた ともや)			
広谷幸一 (ひろたに こういち)		水野 亮(みずの あきら)	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		水野孝雄(みずの たかお)	R40c
[131]		水野範和 (みずの のりかず)	0 01a
		宮腰剛広(みゃごし たけひろ)	M 29b
深沢泰司 (ふかざわ やすし)	S03a	宮崎敦史 (みやざき あつし)	R09b
福島登志夫 (ふくしま としお)	J01a	宮下暁彦 (みやした あきひこ)	V 04a
福田真一 (ふくだ しんいち)	W 27a	宮脇亮介 (みやわき りょうすけ)	P12b
福田尚也(ふくだ なおや)	026b		
藤沢健太 (ふじさわ けんた)	N1 2a		
藤田 裕 (ふじた ゆたか)	R23a		

武藤睦美 (むとう むつみ)	横川 淳 (よこがわ じゅん)
村上 泉 (むらかみ いずみ)	横川創造(よこがわ そうぞう)P35a, V35b
村上敏夫 (むらかみ としお)	横山順一 (よこやま じゅんいち)
村上尚史 (むらかみ なおし)	横山央明 (よこやま たかあき)
村上弘志 (むらかみ ひろし)	吉岡一男 (よしおか かずお)
村上 浩(むらかみ ひろし)	吉川 真 (よしかわ まこと)
村田泰宏 (むらた やすひろ) X04b	吉澤正則 (よしざわ まさのり) V08a
村山 卓 (むらやま たかし)	吉下千秋 (よしした ちあき) L08a
室井恭子 (むろい きょうこ)L14b	吉田 敬 (よしだ たかし)
	吉田龍生 (よしだ たつお)
【も】	吉田 宏 (よしだ ひろし)
毛利勝廣 (もうり かつひろ)Y08c	吉田二美 (よしだ ふみ)L19c
本原顕太郎 (もとはら けんたろう)	吉野 彰(よしの あきら)
百瀬宗武 (ももせ むねたけ)P10a, P13b	吉村圭司 (よしむら けいじ)
森 正夫 (もり まさお)	吉森正人 (よしもり まさと)
森 正樹 (もり まさき)V51c	米倉覚則 (よねくら よしのり)P28b
森口義明 (もりぐち よしあき)	米嶌和香子 (よねしま わかこ) M06a
森野潤一 (もりの じゅんいち)	米徳大輔 (よねとく だいすけ) A09a, S31c
森本太郎 (もりもと たろう)	米原厚憲 (よねはら あつのり)A04b
[や]	【わ】
柳澤顕史 (やなぎさわ けんし)	我妻良一 (わがつま りょういち)
柳澤正久 (やなぎさわ まさひさ) A01a, L13b	
- 例(金)に久(やなささわ まさひさ)AUIA. LISD	輪島清昭 (わじま きょあき) S11b
矢作日出樹 (やはぎ ひでき) B07a	輪島清昭 (わじま きよあき) S11b
矢作日出樹 (やはぎ ひでき)	輪島清昭 (わじま きょあき) S11b 和田武彦 (わだ たけひこ) W04b
矢作日出樹 (やはぎ ひでき) B07a	輪島清昭 (わじま きょあき)
矢作日出樹 (やはぎ ひでき)	輪島清昭 (わじま きよあき)
矢作日出樹 (やはぎ ひでき)	輪島清昭 (わじま きよあき)
矢作日出樹 (やはぎ ひでき)	輪島清昭(わじま きよあき)S11b和田武彦(わだ たけひこ)W04b渡辺 悟(わたなべ さとる)M02a渡辺 伸(わたなべ しん)W28a渡辺 誠(わたなべ まこと)V23b渡会兼也(わたらい けんや)N33b
矢作日出樹 (やはぎ ひでき) B07a 山岡 均	輪島清昭(わじま きよあき)S11b和田武彦(わだ たけひこ)W04b渡辺 悟(わたなべ さとる)M02a渡辺 伸(わたなべ しん)W28a渡辺 誠(わたなべ まこと)V23b渡会兼也(わたらい けんや)N33b

[よ]

年会実行委員会

> 委員長 吉川 真(宇宙研) 委 員 梅本智文(国立天文台)

> > 小山 泰弘 (通信総研)

土居 守(東大理) 山岡 均(九大理)

加藤万里子(慶應大)保育室担当